

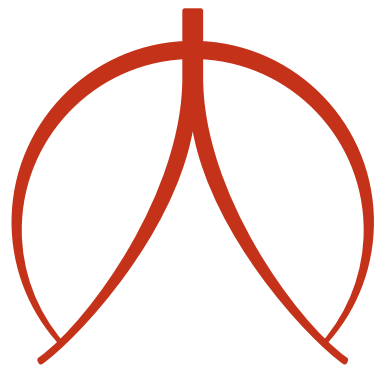
大谷大学広報

編集 大谷大学広報編集委員会

No.180

2009年7月13日

2009 夏



小学校での「あいさつ運動」の様子

お祭り、行きませんか？

2009年度課外活動
春季大会結果

学問のしおり

モンゴル仏教の研究
松川 節

谷大エリア散策

陽

SQUARE

「草食系男子」？「肉食系女子」！
山内 清郎

冬扇

昨年の4月、フランスのテレビ局はある有名人の死を報じた。誤報だった。そして同年8月には、行方不明の子供の死体発見を報じた。子供は無事だった。今年3月、フランスの作曲家モーリス・ジャールが亡くなった時には英国やオーストラリアの新聞はジャール自身の言葉としてネットからの引用文を載せた。その引用文はハッカーが書き込んだデータだった。

メディアの誤報が増えてきてはい

ないだろうか。問題は記者の職業的良心にあるのではなく、「速さ」と「競走」を重視しすぎることにあるだろう。現在のメディアはスクープ性を追求しすぎている。というのは、いち早くニュースを報じ、次に事実関係を調べる。間違えば訂正や謝罪をすればよいという考え方は、すでに当然なのかもしれない。

メディアは立法・司法・行政に次ぐ「第4の権力」と呼ばれている。この表現は好意的であると同時にメ

ディアの重要性を示す。けれども留意しなければならないのは、この権力は公衆の信用に基づくということだ。信用を失うということは、メディアのみならず民主主義や人道主義という大事な概念をも傷つける。

子供の頃「速く」と「キチンと」は両立しないと教えられた。猛スピードで動く現代社会には通用しない教えなのだろうか…

(ディディエ・ヴェステル)

お祭り、行きませんか？

旅先で思いもよらず現地のお祭りに出会うと、ちょっとした当たりクジを引いた感じになりませんか？あるいはお祭りを見たり参加したりすることが旅の目的そのものになったりすることも。

今回は、6名の方にいろいろなお祭りをいろいろな角度からご紹介いただきました。

もうすぐ来る今年の夏休みには、地元のお祭りに出かけるもよし、日本各地、もっとスケール大きく世界各国に「祭りハンター」となって出かけるもよし。

お祭りを包む人々の思いを体感しに、あなたも「お祭り、行きませんか？」



岸和田だんじり祭り

加藤 香寿

全国にはいろいろな祭りがあり、夏になると各地で祭りが行われる。胸踊る季節がやってきた。私が生まれた大阪府岸和田市にも、だんじり祭りがある。五穀豊穡を祈願する祭りで、江戸時代から約300年続く伝統があり、毎年約60万人の観客が訪れる祭りである。祭りの内容は、重さ約4トンもあるケヤキの木で作られた山車を、動力等を使わず人の力だけで、岸和田の街中を走りながら引っぱり回すというものである。



山車は4トンにもなる

祭りの見所はいろいろあるのだが、一番の見所は「やりまわし」であろう。やりまわしとは、走りながら速度に乗っただんじりを、方向転換させ曲がり角を曲がることをいい、失敗すれば家や電信柱を壊してしまうこともある程の迫力があり、曳き手が最も力を入れる瞬間である。そしてもう

一つの見所が夜であろう。昼間は走る祭りなのだが、夜はその姿を変え、だんじりに飾った提灯に明かりを灯しゆっくり街を練り歩くのである。その姿は、大変美しく見入ってしまう程だ。昼が大人中心の祭りで、夜は子供たちが楽しめる祭りになっているのである。

私は岸和田に生まれ、物心がつく前から親にはっぴを着せてもら



迫力ある「やりまわし」

い、祭りに参加してきた。祭りと共に成長してきた私にとって、無くてはならない存在なのである。岸和田の多くの人が愛し、伝統を守ってきた祭りを、機会があれば一度見に来ていただけたらと思う。

(かとう かず
短期仏教科 第2学年)



祭と日常、そして 京都にいればこそ

加藤 淳

私の住む京田辺市にある佐牙神社では、毎年秋に例祭が行われる。1週間前には男手が駆り出され、参道に門が立てられる。家々の門には提灯が出され、町はだんだん活気づいていく。当日、境内には夜店も出て、人も町も日常とは違う感覚の中で時を過ごす。境内に設置された太鼓を「ダ



神輿を担いで

ンダダダダ」などと叩く子供の姿も遅くまで見られた。

私はといえば、その夜、防寒具を揃え社務所の中にいた。寝ずの番（主に供物の見張り役）が当たっていたのだ。夜を徹してこの役を務めるのは、正直かなりきつかった。途中、供物の鯛の臭いにつられてか、細長い動物（山の上なので狸や鼯か？）がガサガサと茂みの中から何度かこちらの様子を伺いに来たり、上着を着足さなければならぬほど冷えこんできた夜中の2時（！）に祝詞をあげたいという方が来て、その対応もした。翌朝、隣町まで神輿を担いだのだが、道中地域住民は子供から大人まで揃ってその神輿に対し頭を下げ（途中頭を下げない子どもがおじいちゃんに頭をぐいと押さえられていたのが印象的だった）、私たちは隣町の神社へと見送られた。このようにして昨年私は町内の祭りに参加した。

話は変わるが、最近学生時代の

友人とこんな話をした。「学生の間にちょっと神社仏閣巡りやお祭りに参加しておけばよかった…。」「どうして？」と尋ねると、「日常的でないことを通じてはじめて日常的な有難みに気付くことが分かったから」と教えてくれた。なるほど、確かにそうであった。「100円でも安いかき氷屋を探し、金魚すくいや射的などで楽しく過ごす」という祭りの楽しみ方もある。しかし私もまた、上記のような「非日常的な体験」をしたことで毎日の「日常」について考えさせられ、今この瞬間に与えられている環境、御縁の重なるの有難みを深く実感した。

そろそろ祭りの季節。京都には祭りも多い。そして学園祭も動き出す。あなたにとって後の祭りにならぬよう、この夏早速どこかのお祭りに参加してみたいか？

（かとう あつし
校友センター 職員）

C O N T E N T S

- p. 2…お祭り、いきませんか？
- p. 7…CAMPUS☆TOPICS
- p.17…keiji☆Ban
- p.25…「ハラスメント防止のためのガイドライン」と「人権問題相談窓口」について
- p.29…2009年度 課外活動春季大会結果・課外活動の活動状況
- p.31…2009年度 同窓会支部総会および巡回講演会 一覧
- p.32…学問のしおり
- p.33…谷大エリア散策
- p.34…研究室だより/学会だより
- p.36…大谷中学・高等学校からのお知らせ 九州大谷短期大学からのお知らせ
- p.37…出版物紹介
- p.38…学生相談室から/学生数
- p.39…2010年度 入学試験日程
- p.40…TANIDAI FRONT
- p.42…財務の概況/2008年度事業報告
- p.48…SQUARE

表紙のことば

教育・心理学科の学生ボランティアで毎朝、紫明小学校の「あいさつ運動」と「走ろう会」に参加しています。

子どもたちの体力に驚かされ、元気いっぱいあいさつに逆に僕らが元気をもらっています。

そして、小学生の礼儀の良さを見て、あいさつの大切さを実感しています。

また僕らに出会ったら「おはよう！」と元気なあいさつをしてくださいね。

教育・心理学科第1学年
坂山 永裕

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたつたぬことの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2009年7月13日発行
発行 大谷大学企画課
編集 大谷大学広報編集委員会
〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学企画課内
電話 (075) 411-8115
FAX (075) 411-8149
URL <http://www.otani.ac.jp/>



津軽の夜を突き刺す ー立佞武多ー

圓山 亜美

私の故郷青森の夏の祭りといえば、ねぶたである。夜に浮かび上がったねぶたとともに、太鼓・手振りがねのリズム、笛の音色に合わせて、ハネトたちが舞う。青森の夏はこのねぶたによって昇華していくといっても過言ではない。

そもそもねぶたとは、古くは中国から伝わった「中元」という行事が起源といわれ、400年以上の間、津軽地方を中心に受け継がれてきた火祭りである。

中でも私の地元、五所川原の立佞武多は、高さ22メートル、重さ17トンの巨大な山車であり、「ヤッテマレ、ヤッテマレ」とかけ声をかけながら運行される。この立佞武多は平成10年に復刻され、最初は1台だけであったが、今では高校生も参加し、巨大な山車が何台も街を練り歩くようになり、青森ねぶた・弘前ねぶたと並んで大

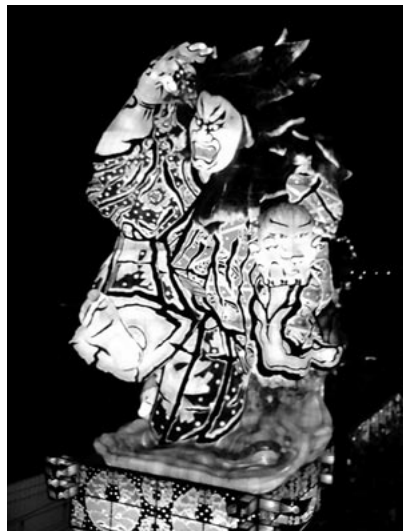
きな祭りの1つとなっている。

勇壮で迫力満点の立佞武多と太鼓などの音を聞くと、心が躍り、体が勝手に動いてしまう。そして何より元気が湧いてくる。

この祭りを終えると、田畑の収穫を迎え、厳しい冬を迎えるが、

私たちはねぶたを待ちわびながら1年を過ごしているのかも知れない。是非一度この北の熱い祭を体験してみてもはどうだろうか。

(まるやま あみ
真宗総合研究所 補助員)



勇壮で迫力満点の立佞武多



その姿は圧巻の一言につきる



お祭りは遠くなりにはけり？

高井 康弘

私が入ろうろしているタイヤロスには、いろんなお祭りがある。でも、大きなお祭りである最夏季4月中旬の正月（ソングラン、ピーマイ）の水かけ祭りには、もう20年以上立ち会っていない。水かけ祭といえば、まるで雪合戦のように、みんなで水をぶっかけあ

って無礼講で発散する場面が思い浮かぶが、尊敬する人や好きな人に淡い香りの水をそっとかけて、思いを伝える機会でもある。人気者は三日間水浸しになり、風邪を引く。

灯籠流し（ローイクラトン）の祭りも、すっかりご無沙汰である。

稲刈り後の涼しい11月の満月の夜にカップルが灯籠を流し、その行方をながめていたりするのである。そんな光景が繰り返されるのだろうなと思いながら、大学でまじめに(?) 過ごしている。

調査に行く8月は向うも雨季で、また安居の期間でもあるので、あ

まり祝祭的でない。それでもここ数年通っているラオス北部の村には、この期間に限り満月の持戒日の前日に水牛を屠って、男たちで終日ひたすら酒を飲み、ご馳走を食べる宴の慣行がある。そういえば、去年の夏は8つの宴をはしごした後、酔いつぶれた爺さんに肩をかしながら、ふらふらと家まで送り届けたりしていたなと思い出した。

(たかい やすひろ
教授 社会学・文化人類学)



ローイクラトンの祭り
(タイ・チエンマイにて)



小さな村祭りで受け継がれていくこと

伊東 みさき

私のふるさととは、長野県の南端の山々に囲まれた人口670人の村「売木村」である。この小さな村で毎年行われる「お練り祭り」は、大正4年に挙行された「御大典祝賀行事」(大正天皇の即位式)の際に、隣村の愛知県豊根村に伝わる「お練り」を参考にして、アレンジを加えた売木村に伝わる祭りである。「お練り」とは、練り歩くことであり、50人ほどの笛や太鼓の行列をつくり、その囃子に合わせて2人の舞子が勇壮に舞いながら、村の神社に奉納することによって豊作を祈願するのだ。

45%が65歳以上のこの村で、お練り祭りを絶やさないためには、若者たちの力が必要となる。しかし、村には通える高校がないため、

中学校を卒業した若者たちは離村しなければならない。そのため、この祭りを支えているのは、若手とは言い難い40~60歳の男性陣で組織される青年部と中学生たちである。私も中学生の頃は、父や青年部の方々に笛や舞を習って、祭りに参加していた。村の先輩たちから学んだことはとても多かった。笛の吹き方や指使い、舞子と心をひとつにすること、そして、村の昔話や農作物の育て方、いのちを大切にすることまでも教わった。

コンビニもない小さな村だが、祭りを通して村がひとつとなり、受け継がれていくことは、単に豊作を願った祭りというイベント的要素だけではなく、人を思いやるとは? いのちとは? という人



お練り祭りの様子

間の生き方を考えさせることなのだろう。そんな人間味あふれる売木村のお練り祭りを私は心から愛している。この原稿を書いていると、今年は父と一緒に笛を手にとり、中学校以来の、お練り祭りに参加してみたくなった。

(いとう みさき
教務課 職員)



茅の輪くぐり

Monica A. Bethe

C. S. ルイスの『ナルニア国物語 カスピアン王子のつのぶえ』に、ドアが野原に立つ象徴的な一場面がある。そのドアを一廻りしても不思議に支え無しで立っているように見えるが、ドアを通ると別の世界に入る。私にとって、神道の鳥居はこのドアをイメージさせる。壁や垣と繋がれていない独立して建てられた鳥居は神の世界へ私たちを招き入れる。

京都の多くの神社で行う「夏越なごし祓はらえ」の祭りに使用する大きな茅ちの輪も、くぐることによってけがれを落とし、残り半年の無病息災を祈願し、新しい季節に歩みだす。

奈良の法華寺門跡では、蓮の花が咲いている時期（7月17日）に蓮華会式の一部として、寺院には

めずらしく特別な茅の輪くぐりが行われる。本堂の前に尼寺にふさわしい花束付きの茅の輪を建て、夕方5時頃に尼僧が列をなし、境内を練り歩き、茅の輪の前に止まる。まず、住職が、長い散杖で浄水を散らしながら輪口を清め、尼僧の列、そして矢筈はずがやの棒を持つ在家信者が、次々と茅の輪をくぐり、本堂に入っていく。供えもので溢れる仏前で、蠟燭の明かりの中尼僧が読経を始める。

夕焼けが闇になりつつ、それぞれの名前と願いごとが書かれている提灯の炎が、けがれを燃やしながらかほやかに輝き始めると、寺院も魔法がかかったように聖なる輝



法華寺の茅の輪くぐり

きを放つ。輪をくぐった私たちは時間を超え、千年の時代を超え、民衆の健康と幸せを願った、この寺を建てた光明皇后の思いと一体化していく。

（モニカ A. ベーテ
教授 英米文化・古典芸能史）

人事

退職

契約期間満了による退職

[事務系嘱託]

石田 真琴 (企画・入試部)

2009年5月31日付

依願退職

[事務職員]

渋谷 幸子 (企画・入試部)

光弘 隆 (総務部)

2009年6月30日付 (各通)

新規採用

[事務系嘱託]

今西 達也

(企画・入試部)

2009年6月1日付



石橋義秀先生、築山修道先生、豊島修先生、松村尚子先生に名誉教授の称号おくられる

このたび、大谷大学名誉教授称号授与規程に基づき、本学の教育上また、学術上、特に功績のあった先生におくられる名誉教授の称号が石橋義秀先生 (国文学)、築

山修道先生 (比較思想・国際文化学)、豊島修先生 (日本宗教民俗学)、松村尚子先生 (社会学) におくられました。

授与式は石橋先生、築山先生、

松村先生が4月1日(水)、豊島先生が4月9日(木)に学長室において行われました。

(総務課)



石橋義秀名誉教授



築山修道名誉教授



豊島修名誉教授



松村尚子名誉教授

本学学生が電動車椅子サッカーチームで活躍

本学的美濃部裕道さん (文学部社会学科第4学年) は、生まれつき重度の肢体障害を持ちながらも、車椅子を動かす力さえあれば誰でも参加できる電動車椅子サッカーに魅せられ、滋賀県初の電動車椅子のサッカーチーム「F. C. LUTE STAR SHIGA」を結成されました。

電動車椅子サッカーとは、電動車椅子の前部に金属のフットガードを取り付け、サッカーボールの約1.5倍である33センチのボールを用いて行うスポーツです。日本での認知度はまだ低いようですが、2007年には初のワールドカップも行われ、チーム数も40を超えるなど国内にも徐々に浸透しつつあり

ます。

5月の予選大会では美濃部さんのチームは惜しくも敗れてしまいました。しかし、美濃部さんは現在来年の全国大会出場を目指し練習を重ねています。試合時スピードが時速6キロにもなるこの電動車椅子サッカーの魅力について、美濃部さんはこう語ってくれました。

『スピードとパワーも電動車椅子



電動車いすサッカー大会の様子

サッカーの魅力なのですが、やはりこのサッカーを通していろいろな地域の方と出会って、仲間になることができるのが一番の魅力です。試合に勝つことで全国大会に行くこともできるので、出会いを求めて臨みたいです。電動車いすサッカーは本当に楽しいスポーツで、今までスポーツに興味なかった人でも気軽に来てほしいと思います。支援者がいて初めて成り



小学校で講師としても活躍

立つスポーツなので、ボランティアや健常者の方にもどんどん来ていただきたいです。』

美濃部さんは全国障害者スポー

ツ大会のビーンバッグ投げ競技に出場し優勝（『大谷大学広報 2006年秋号』掲載）された経験をお持ちで、その他にも出身である滋賀

県の小中学校や養護学校を中心に講師をされており、今後のご活躍がますます期待できます。

（企画課）

「バリアフリーデータベース」の提供

本学の卒業生、租開隆秀さん（2006年度人文情報学科卒）が、在学中山本貴子准教授のゼミにおいて、身体障害者のための学内「バリアフリーデータベース」を作成しました。元々、希望される方々に提供することを目的としており、今後、山本ゼミが教育活動の一環としてデータの更新作業を行っていくこととなりました。大学と共同しながら、施設の改築状況を踏まえ、各施設の実寸並びにデータ更新を行っていく予定です。本データベースの概要を、データベースの構築指導にあられた頼尊恒信さん（2007年度本学大学院文学研究科博士後期課程満期退学）からメッセージをいただきましたので下記に掲載します。

なお、このデータベースに関する件は、山本貴子研究室までお問い合わせください。



本データベースの解説に代えて

頼尊 恒信

1. はじめに

障害当事者や高齢者などが外出する時の手引きとしてバリアフリーマップ（ここでは、データベース）がこれまで多く作られてきました。そのようなバリアフリーマップの形式は、ほぼ3つに分類することができます。それは、①バリアフリートイレに関するマップ、②バリアフリー歩行空間に関するマップ、③公共交通機関を中心とした交通機関のバリアフリーに関するマップです。それらはバリアフリー状況を何らかの尺度をもって評価しています。つまり、マップ上のバリアフリー状況に対する評価は、利用者は無意識的に解答を提示することを意味しています。

たとえば、車椅子ユーザーは、障害の症状は似通っていたとしても、一人一人異なった車椅子

を利用して生活しているのです、その施設・設備が使いやすいかどうかや、使うことができるかどうかは、車椅子の形状や個人の身体能力に大きく影響されます。マップの利用者にとっては、「一般的な車椅子に関するバリアフリー状況」が知りたいのではなく、「自分がその設備を利用できるか」ということが知りたいのです。その点を配慮するならば、当該設備に対する「評価」ではなく、実測寸法の表記が必要となります。

そこで、このデータベースを構築いたしました。

2. 本データベースの特色

このデータベース（以下では、DB）の構築にあたって、項目設定の大きな指針としたものは以下の3点です。

①できるだけ多くの情報を盛り

込む

- ②バリアフリー状況についての評価は最低限に抑える
- ③情報の表示はデータ階層を分けて表示する

まず、①について、トイレを例にとると、ユーザーにとっては便座までの移乗ができたとしても、トイレトパーパーなどが利用できるとは限りません。そこで、このDBでは、トイレにあるすべての設備の有無だけではなく、設備の高さや幅、奥行きなどの寸法を項目として採用しました。また、車椅子旋回のスペースについては、広さを「縦cm×横cm」で表記しました。

次に、②については、①の旋回スペースを例にとると、その広さがわかれば、車椅子ユーザーは自分で「自分は旋回可能なのか」ということを割り出すこ

とができます。つまり、ユーザーが主体的にその施設が利用可能な施設かということ判断することができます。

最後に、③ですが、このDBはデータ項目が多く、しかもそれらの多くが寸法で表記されています。データ項目を一覧表にすると、非常にこまごまと見にくいものになってしまいます。さらに、DBの利用者は、その細かい一覧表の中から必要なデータを選ばなければなりません。そこで、教室を例にとると、検索結果として、まず最初に教室の基本的な情報を表示させ、そこから必要に応じて、詳しい椅子の情報や大きな写真などを見ることができるようにしました。何段階かに分けて必要な情報を表示させるという意味で、「階

層を分ける」と表現しています。

3. おわりに

近年、障害当事者の自立生活が盛んに行われるようになってきています。そのなかで、「自己選択・自己決定権」がよく主張されます。この思想の背景には、長い歴史の中で、障害当事者は、情報の多くを第三者（施設や親）の見解によって、選択され、決定されてきたという過去が反映されています。

このDBでは、判断や評価をDB利用者に委ねる形式でデータ項目を作成しました。それは、この「自己選択・自己決定」という思想に基づいてのことです。あえて、DB作成者が判断や評価を行わないことにより、障害の多様性を認め、それに応じた形

で障害当事者が自己選択を行うことが可能となります。

このような理念で構築されたDBが普及すると、障害当事者の生活に大きな変革と、利便性を生むこととなります。つまり、この理念を持ったDBの普及が、障害者の自立生活をさらに発展させる鍵を握っていると言えます。

尚、詳しい解説については、このDB本体から見ることでできる解説を参照していただければ幸いです。

（これは、頼尊恒信氏が書いた文章を、本学文学部人文情報学科准教授山本貴子が編集したものであり、最終的な文責は山本貴子にあります。）

落語研究会がグループホームにて余興

去る3月25日(水)、京都市北区の「グループホーム 安らぎ」にて、本学の落語研究会の学生が落語を上演しました。今回参加したのは賀茂乃歩翻壺さん（清水洋一郎 文学部史学科第3学年）、淀の夏侯成さん（小島安希未 文学部文学科第3学年）の2組で、賀茂乃歩翻壺さんが「鷺取り」「堪忍袋」を、淀の夏侯成さんが「しの字嫌い」の計3席を熱演されました。「グループホーム 安らぎ」は京

都市北区にある介護施設であり、ホームにはおよそ20人の方々が入居しておられます。今回は職員の方からの依頼を受け初めての余興となった落語研究会でしたが、上演した会長の清水洋一郎さんは『今回の余興では夫婦仲の話である「堪忍袋」をかけました。皆さんに共感してもらい、笑って頂いたのが上演する側としても非常に楽しかったです。入居者の方には「おもしろかった、また8月も楽しみ

にしているで」と仰っていただき、とても嬉しく思いました。』など生き生きと感想を述べられました。

（企画課）



余興の様子

若葉祭を開催

新生を歓迎するイベントとして、4月4日(土)に若葉祭が開催されました。当日はあいにくの雨天でしたが、例年以上に参加者が多く、活気あふれた若葉祭を楽しむことができました。

キャンパス内に設けられたテン

トでは、各クラブによる新生生の勧誘が行われ、クラブの説明を聞く新生生と各クラブ部員の楽しそうなやりとりが見られました。また、1号館の各教室では、文化系のクラブなどが、活動記録や作品の展示、催し物を企画し、新生生



クラブの勧誘説明を聞く新生生

のみならず在學生たちも興味深く見入っていました。

雨天のため急遽会場変更となった講堂では、お笑い芸人「アメリカザリガニ」のオープニングライ

ブ後、音楽系のクラブや同好会などによるライブで始まり、10月に開催が予定されている第7回京都学生祭典からの創作ダンス「京炎そでふれ!」、そして最後はピン

ゴゲームで盛りあがりました。イベントでは豪華賞品が用意され、大勢の新入生と在學生と一緒に楽しんでいました。

(学生支援課)

華道部は学内に生け花を展示しています

学生支援課のカウンターや入学センターの前など、学内にきれいな花が生けてあるのをご存知でしょうか?この作品は本学の華道部の学生たちによって飾られたもので、月1度のお稽古で生けられる花を、部室の中だけでなく、他の方たちにも鑑賞していただきたいという部員の声に応じて行われました。

華道部は休部の状態でしたが、現在の部長である柿崎摩衣子さん(文学部国際文化学科第3学年)

や、柿崎さんの友人の寮生が中心になって昨年の11月に9人で活動を再開されました。

部長である柿崎さんは、生け花の展示について『周りの人からは「場が明るくなった」「華やかになった」という嬉しいコメントをいただきました。また、大谷大学にも華道部があったのだと気づいてもらうきっかけにもなったようです。』と話してくれました。

華道部の生け花は、至誠館1階学生支援課カウンター、響流館1

階教育研究支援課カウンター、博綜館1階入学センター前、響流館3階GLOBAL SQUAREなどの計5カ所に飾られています。

(企画課)



入学センター前に生けられた花

文化体験「留学生と料理教室」

6月12日(金)、本学学生の外国人留学生と日本人学生の交流イベントとして「留学生と料理教室」を開催し、24名が参加しました。これは、GLOBAL SQUARE学生スタッフの提案から始まり、当日までの下準備を学生スタッフが中心となり進めました。GLOBAL SQUARE学生スタッフは、本学で学ぶ外国人留学生のサポートを目的に活動しており、「日本生活ガイドBOOK」の作成や留学生と一緒に学園祭に出店するなど、留学生が日本での生活に少しでも早く



調理の様子

なじめるように取り組んでいます。

今回の企画では、学生スタッフは「参加募集班・レシピ作成班・材料買出し班」に分かれ、班ごとにミーティングを重ね料理教室の実施に向けて取り組みました。

当日は、「チャプチェ(韓国風春雨)」、「チェウンポックム(韓国風豚肉炒め)」、日本料理の「たけのこご飯」を作りましたが、韓国人留学生が材料の切り方を日本人学生に教える場面も見られ、協力して調理できたようです。さらに、「水餃子」と「さつまいもまんじゅう」の調理にもチャレンジし、皮の厚さを調整するのに苦労しながらも真剣に取り組み、にぎやかな料理教室となりました。

韓国人留学生に料理のできばえを聞くと、「母国の母の味には届かないが、おいしくできた」と話をしてくれました。また、「韓国



参加者で記念撮影

語や中国語、日本語などいろいろな国の言葉が飛び交う中、一緒に作業をしていくうちに連帯感が生まれ、人の輪が広がっていくのがうれしかった。」という声も聞かれました。

留学生も日本人学生も、異文化に触れる良い機会となり、お互いの交流もさらに深まりました。

(GLOBAL SQUARE)

箏曲部と尺八部が北区民ふれあい事業に参加

去る6月7日(日)、北区の船岡山公園で「北区民春まつり～ふれあいまつり2009～」が開催され、本学からは箏曲部と尺八部が参加し祭りを盛り上げました。

「北区民春まつり」は、子どもから高齢者まで区民の親睦を深めるとともに地域の活性化を目的としたふれあい事業で、毎年6月ごろに開催されています。

今回は箏曲部と尺八部あわせて7名の出演で、野外に設置された特設ステージにて「鳥唄」「北海民謡調」「夢弦」の3曲を演奏されました。

北区民春まつりに出演された尺

八部の石原大輝さん(文学部哲学科第3学年)は、『普段練習していることを発揮する機会を与えてくださったことに感謝しています。そして邦楽器という日本で育まれた情緒深い楽器を、こういった機会を通じてより多くの世代の人に知っていただけたら幸いです。僕たちは、お寺や福祉施設など室内で演奏させて貰うことはありますが、野外というのはあまり機会がなく貴重な体験でした。他にはない特色のある楽器たちに興味があるのなら学年を問わず是非部室に遊びに来て下さい。11月29日Avantiホールを貸し切って演奏会もや

っていますのでよろしくお願ひします。』と話してくれました。

当日は風が強く、楽譜が飛ばされるなどのハプニングがあったものの、野外特設ステージ前のベンチに座った聴衆は琴や尺八が奏でる和の響きにうっとり耳を傾けていました。

(企画課)



「夢弦」を演奏中

佐賀枝夏文教授が第27回社会事業史学会文献賞を受賞

本学の佐賀枝夏文教授が分担執筆されました『戦後仏教社会福祉事業の歴史』、『戦後仏教社会福祉事業史年表』(長谷川匡俊編 法蔵館 2007年)の2冊が、5月9日(土)～10日(日)に開催された社会事業史学会大会において第27回社会事業史学会の文献賞を受賞しました。

今回の受賞は、仏教社会福祉が果たした役割を、宗派別・分野別にカテゴリー分けし歴史に沿って解明したその功績が高く評価されたため、両著書において佐賀枝

先生は真宗大谷派の戦後社会福祉事業、児童福祉、そして仏教・仏教徒における女性と母子の福祉について担当執筆されています。

今回受賞となった本は、2冊とも本学の図書館にて閲覧することができます。

(企画課)



豊住征子元教授が全国保育士養成協議会から表彰を受ける

本年3月まで、本学幼児教育保育科の教授でおられました豊住征子先生が、2月1日(日)に社団法人全国保育士養成協議会から会員校教職員表彰を受けられました。

この表彰は、長年にわたり保育士養成校に勤務し、保育士養成に多大な貢献をなした教職員の業績をたたえて表彰することにより、保育士養成事業の今後の発展に資

することを目的としたものです。

豊住征子先生は、1987年4月より2009年3月まで、本学幼児教育保育科にて幼稚園教諭や保育士を目指す学生のご指導にあたられました。先生のご専門は「音楽」で、授業のほかにオペレッタ公演のご指導にもあたられ、技術だけでなく音楽を通して子どもたちと共に育ち、生きようとする主体的な保育者の養成に

ご尽力くださいました。(教務課)



豊住征子元教授

大谷大学北大路自転車駐輪場を整備しました

本学の北門から西に約20m、教
会横に大谷大学北大路自転車駐輪
場（約70台駐輪可能）を整備しま
した。駐輪場は学生証、職員証、
響流館利用証をゲート設置のカー
ドリーダーに通すことにより門扉
が開閉するシステムを採用しまし
た。駐輪場は以下の予定で開放し
ます。満車時はキャンパス内の駐
輪場に駐輪してください。

○利用可能日

北門の開門に併せて開放します。
日曜・祝日・一斉休暇などの期間
は閉鎖します。

○利用時間

8:00~21:00

○利用対象

本学学生、教職員、響流館利用証
所有者

○利用方法

入構時

①学生証・職員証・利用証をカー
ドリーダーに入れる、抜く

②扉が開く

③入構する

退出時

①学生証・職員証・利用証をカー
ドリーダーに入れる、抜く

②扉が開く

③退出する

※扉は自動で閉まります。先の人
に続いて入構、退出される場合
は、扉が閉まりかけていてもカ
ードを入れることで続けて利用
できます。

○その他

・多くの方が利用できるよう自転
車は駐輪スペースの奥から詰め

て駐輪してください（各自整理
整頓してください）。

- ・利用可能日、利用可能時間以外
の利用はできません（個別の事情
による対応はできません）。
- ・カードの破損等により利用でき
ない場合は、それぞれのカード
の担当部署で再発行などの手続
きをしてください。

（総務課）



大谷学会春季公開講演会を開催

去る5月28日(木)、外部からの一
般参加者を含め大勢の聴衆が注目
するなか、大谷大学春季公開講演
会が開催されました。最初に本学
の水島見一教授が、本年度開設の
教育・心理学科主任という立場も
踏まえて、「真宗と教育—清沢満
之の『独尊子』について—」とい
う題で講演されました。清沢満之



水島見一教授

が帝国大学で西洋哲学を学んだの
に、学者の道を放棄して京都の中
学校で教育実践を行ったこと、そ
して思索の果てにたどりついた、
迷える主体としての自己のあり方
こそが、教育の主体としての「独
尊子」であると説明され、その
「独尊子」を教育現場において実
践した廣小路亨という人を紹介さ
れました。

次に、京都大学の西平直教授が、
「死んでゆく不思議・生まれてくる
不思議—こどもたちにどう伝える
か—」という題で講演されました。
先生は自身の、こどもたちや学生
に接した様々な経験から、「死」と
「生」あるいは「生」を問うこと

は、「いのち」を学ぶことであり、
それは困難でも教育の現場におい
て考え続けなければいけない問題
であると強調されました。絵本や
持参したぬいぐるみを使っての分
かりやすい説明に感動した聴衆か
ら、講演後も質問が絶えませんでした。

（大谷学会）



西平直京都大学教授

「宗祖誕生会」を厳修

宗祖親鸞聖人の御誕生会が5月
30日(土)、講堂において、来賓、教
職員、在学生、一般来聴者約500
人の参加を得て厳修されました。

勤行に引き続き、学長挨拶、記
念講演が行われました。

今年度の記念講演は、講師に作
家の青木新門氏を迎え『命のバト

ンタッチ—映画「おくりびと」に
よせて—』と題して記念講演をし
ていただきました。

青木新門氏は、映画「おくりび

と」が製作されることとなったきっかけを、まず俳優の本木雅弘さんとの出会いから話されました。そして映画と著作『納棺夫日記』との違いが「死」の捉え方の違いにあることや、自身が「死」というものを認識し、肯定的に受け入れることとなったきっかけを納棺夫として勤めることとなる自身の経

歴に沿ってお話いただきました。死の瞬間に立ち会うこと、死を肯定的に受け入れることの大切さを熱く語られ、昨今の青少年によるせい惨な事件は、現代の死を隠蔽する文化にあるのではないかと指摘されました。青木氏の絶妙なユーモアを交えながらの講演に、聴衆は時折笑いながらも最後まで

熱心に耳を傾けていました。

(総務課)



青木新門氏

博物館春季企画展を開催

博物館では、4月1日(水)から5月16日(土)の会期で、春季企画展「大谷大学の前身・学寮の時代」を開催しました。

春季企画展では、例年、とくに新入生に大谷大学の歴史を知ってもらうため、「大谷大学のあゆみ」をテーマとして本学の歴史を所蔵資料で紹介しています。文学部第

1学年の必修科目「人間学」を中心に授業を活用しての観覧も多く、約1,200名の来館者が大谷大学の歴史に触れました。

なお、今年度春季企画展は、従来4月の1ヶ月間であった会期を5月半ばまで設定したことにより、より多くの観覧者を迎えることができました。(図書・博物館課)



博物館夏季企画展のご案内

博物館では、「儒・仏・道・神 東アジアの宗教と文化」をテーマに、夏季企画展を開催しています。東アジアの代表的な宗教である儒教・仏教・道教・神道は、数千年の歴史を持ちながら、その教

えは今も広く生き続けています。今回の企画展では本館所蔵の名品を通じ「儒・仏・道・神」の交渉の歴史を紹介しています。

在学生・同窓生は無料で入館していただけます。ぜひご観覧ください。

さい。

会期：開催中～2009年8月3日(月)
(休館日：日・月曜日、但し7月20日(月・祝)、8月3日(月)は開館)

(図書・博物館課)

4号館・5号館を建設中

大谷大学4号館・5号館は、本学のキャンパス全体の将来を見据えたものであると同時に、2009年4月開設の文学部教育・心理学科の開講カリキュラムに対応した施設を目指し、理科室、音楽室、図工室などの実習室、ピアノレッスン室を配備するとともに演習室、中講義室、大講義室を配備します。

また、教員養成についても、支援体制を強化するために教職支援センターの機能を現在の至誠館か

ら移転する計画です。

配置計画は、東側キャンパス北側に4号館と5号館の二棟をL型に配置し、地下鉄北大路駅からの学生の動線の効率化を図るとともに、広場を可能な限り残す土地の有効利用を図っています。

4号館・5号館は、今年度後期からの使用を計画し、工事を進めています。

(総務課)



4号館・5号館完成予定図

国際交流だより (2009年3月～6月)

■来学

- ◎ 4 / 14 カンタベリー クライストチャーチ大学 (イギリス)
本学学生の語学留学について意見交換
- ◎ 4 / 22 中央民族大学ツェリントール博士 (中国)
木村学長表敬訪問、本学との交流について意見交換

■訪問

- ◎ 学術交流準協定 2 校
 - 3 / 23 デーキン大学 (オーストラリア)
本学学生の語学留学について意見交換
 - 3 / 26 ボンド大学 (オーストラリア)
本学学生の語学留学について意見交換
- ◎ 木村学長のヨーロッパ学術交流協定 3 機関への訪問
 - 4 / 29 エトヴェシ・ロラード大学 (ハンガリー)
フデツ学長表敬訪問、教員・図書館の交流・合同シンポジウム等について意見交換
 - 5 / 4 フランス国立高等研究院 (フランス)
共同学会の開催・学生交流について意見交換
 - 5 / 6 フィリップス・マールブルク大学 (ドイツ)
博物館の交流・本学学生の語学留学について意見交換

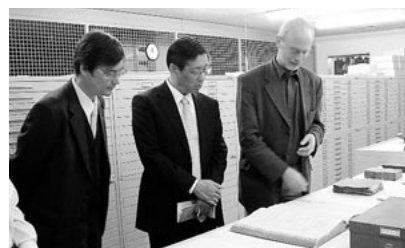
(教育研究支援課)



エトヴェシ・ロラード大学フデツ学長との会談



フランス国立高等研究院の研究者との記念撮影



フィリップス・マールブルク大学図書館見学

オープンキャンパスを開催

去る 6 月 20 日(土)、2009 年度の第 1 回目のオープンキャンパスを開催しました。

今回のオープンキャンパスには、昨年を 100 組以上をうわまわる 364 組の来場者があり、来校した高校生は 2010 年 4 月より現代アジアと欧米文化の 2 コースを設置する国際文化学科の模擬授業やクラブ活

動見学、「YouTube コーナー」などに参加されていました。

また、当日は 40 名以上の学生が、ボランティアスタッフとして協力いただき、「在学生とのフリートークコーナー」や「響流館見学ツアー」、「スタンプラリー」等で高校生に本学の魅力を伝えてくれました。

参加された高校生のアンケートには、「初めてのオープンキャンパスで不安や緊張が大きかったけど、大学生が丁寧に教えてくれて安心できた。」「大学生が親切で質問がしやすかった。」といった感想が多数書かれていました。

本学では今後、7 月、8 月、9



You Tube コーナー閲覧の様子

月、10 月とオープンキャンパスを開催していきます。現在もボランティアスタッフを募集しています。高校生と楽しく接してみたいというかたは、入学センターまでお越しください。

(入学センター)



受付の様子

今年度も学生ボランティアが開始になりました！

現在、本学では中学・高校の教員免許を取得することができます。また、今年開設した教育・心理学科では、幼稚園一種・小学校一種の教員免許を取得することができます。これらの教員免許の取得を目指す学生たちが、実際の幼稚園・小学校・中学校・高等学校などで、様々な形のボランティアとして関わっています。例えば、実際の教室での担任補助や放課後の

学習サポート、部活動の補助・コーチ、朝登校する小学生に挨拶する「あいさつ運動」や小学校の朝のランニングで一緒に走るなど、将来教員を目指す学生たちが、児童・生徒に囲まれながら、笑顔で頑張っています。このような現場での経験は、大学の授業では学べない素晴らしい経験です。よりよい教員を目指すために、ぜひ学生ボランティアとして、教育現場の

空気を感じてみませんか？ 希望者は、教職支援センターまでお問い合わせください。

(教職支援センター)



朝のランニングの様子

平成21年度の科学研究費補助金交付決定

平成21年度の科学研究費補助金交付決定が6月9日付で通知されました。交付決定された本学教員の研究課題は下記のとおりです。

種 目	研究代表者	研究課題名	開始年度	終了年度
基盤研究 (A)	松川 節	世界遺産エルデニゾー僧院に関する総合的研究ー過去の復元から未来への保存へー	平成21年度	平成23年度
基盤研究 (B)	小谷信千代	ボタラ宮所蔵スティラマティの俱舎論註釈書『真実義』の新出梵文写本研究	平成19年度	平成22年度
基盤研究 (B) 海外学術調査	田辺 繁治	東南アジア大陸部における生成的コミュニティ	平成19年度	平成21年度
基盤研究 (C)	古川 哲史	日米関係史における日本人とアフリカ系アメリカ人ー第二次世界大戦後から現在まで	平成18年度	平成21年度
基盤研究 (C)	ダシュ・ショバラニ	日本で発見されたオリヤー語『マハーバーラタ』の研究	平成20年度	平成22年度
基盤研究 (C)	桂華 淳祥	石刻史料からみた宋元代華北地方における仏教の社会的変遷に関する基礎研究	平成20年度	平成22年度
基盤研究 (C)	白館 戒雲	チベット仏教における論理学の研究	平成21年度	平成23年度
基盤研究 (C)	脇中 洋	高次脳機能障害者とその家族のピアサポートによる自己と関係の変容に関する発達の研究	平成21年度	平成23年度
若手研究 (スタートアップ)	西尾 浩二	プラトンの中期対話篇における教育思想の展開に関する研究	平成20年度	平成21年度
若手研究 (スタートアップ)	宮本 浩尊	初期自立論証派中観思想の解明	平成20年度	平成21年度
若手研究 (B)	箕浦 尚美	新出孝養説話集の研究	平成19年度	平成21年度
若手研究 (B)	西村 美紀	イングランドの多文化教育ー小学校における文化的ヒドゥンカリキュラムー	平成20年度	平成21年度
研究成果公開促進費 (学術図書)	朴 一 功	魂の正義ープラトン倫理学の視座ー	平成21年度	平成21年度

※刊行物の名称

本学卒業生がスリランカの写真報告会を開催

6月20日(土)、本学文学部仏教学科を1996年度に卒業された岸野亮哉さんが、写真取材報告会を開催されました。

岸野さんは、現在、実家の浄土宗西山禅林寺派の専修寺で法務に従事しながら、岸野写真事務所を設立し、海外で自費取材活動を続けておられます。

今回は、5月のスリランカ内戦終結宣言を受けて「光り輝く島から②～スリランカ内戦を考える～」とのテーマで緊急報告会を開催されました。内戦の原因となったのはシンハラ人とタミル人の対立といわれていますが、実際はどのようなかということについて撮影された写真を紹介しながら現状を報告

されました。また、スリランカの日本人学校で教師をされていた岡本茂氏、医療支援のNGOメンバーとして活動された幸長由子氏を迎えてスリランカの内戦終結に関する解説、トークセッションも行われ聴衆に深い理解をもたらしました。

報告会の開催について、岸野さんは『5月に終結が報じられたスリランカ内戦。私は停戦中に反政府組織の取材をしてきましたが、内戦再開後、かつて訪れた街が戦場となり、出会った人々が多数犠牲となったのではないかと思います、心配で夜も眠れない日が続いています。現在、政府が報道規制をしていることもあり、現地での取材

経験のある私は、伝える義務があると思いました。岡本さんや幸長さんの指摘も鋭く、来場者の方々にも内戦の原因だけでなく、命や人権のことなどが伝わったと思います。最後に、母校である大谷大学には、今回も全面的に協力していただき非常に感謝しています。』と語られました。

(企画課)



報告会の様子

本学学生がインド舞踊を披露

6月27日(土)、埼玉県三郷市で開催されたラタジャトラ祭(主催: Odisha Community Japan)に本学学生らが参加し、1000人の観客の前でフォークダンスや古典舞踊を披露しました。参加したのは、田尻和岐江さん(修士課程仏教学専攻 第2学年)、笹沼俊匡さん(同)、明光敏秀さん(文学部仏教学科第4学年)、渡邊温子さん(博士後期課程国際文化専攻 第1学年)の学生4人と、舞踊の指導にあたっている本学非常勤講師Dash Shobha Rani氏の計5名です。

ラタジャトラ祭は、ヒンドゥー教の神ジャガンナートの像を山車

に載せて練り歩くもので、インド東部オリッサ地方でおこなわれている祭りです。昨年度より、在日ヒンドゥー教徒と日本人との親睦をはかることを目的として本場の祭りが再現されました。今回の舞台は主催者の招待により実現しました。祭りに参加した田尻さんは、『一生懸命踊りながらも楽しめました。観客の方々も最後にいっしょにおどってくれてよかったです。本場インドの方々に喜んでいただいて、たいへん光栄でした。』と語ってくれ、明光さんは『勉強やサークル以外に大学で打ち込めるものを見つけ、その成果を披露出

来てよかったです。』と感想を述べてくれました。

(国際文化学科)



ジャガンナート像の山車の前にて

総務課

暁天講座の開講

今年度の暁天講座を次のとおり開講いたします。

- 7月22日(水) 一色 順心 本学教授
「無窮の道を歩む」
- 7月23日(木) 田代 俊孝 同朋大学教授
「韋提希夫人の生と死
—無生忍を得る—」
- 7月24日(金) 福島 光哉 本学名誉教授
「他の方便さらになし」

*いずれも講堂において、午前6時30分から開講します。

*終了後、学内食堂において、朝粥を用意しております。

安居の開講

真宗大谷派の今年度の安居が、本学において次のとおり開講されます。

期間 7月15日(水)～7月29日(水)

場所 大谷大学

なお、開講式(7月15日)と満講式(7月29日)は、真宗本廟阿弥陀堂において行われます。

講本・講者

[本 講] 『顕浄土方便化身土文類』

講師 福島 光哉

[次 講] 『唯信鈔文意』

擬講 田代 俊孝

*安居(あんご)とは、梵語(ぼんご)varṣaまたはvārṣikaの訳語で「雨期」の意。古来インドでは、夏の雨期になると遊行(ゆぎょう・僧が諸国をめぐるって説法、教化すること)が難しく、また、草や虫を踏み殺してしまう恐れがあるところから、精舎と呼ばれる窟院に住して修行した故事による、と言われていています。僧侶が雨期などある一定期間外出しないで一定場所に居住し、学習することをいいます。

教務課

前期定期試験について

- 今年度の前期定期試験は、7月22日(水)より7月31日(金)までの期間に実施します。
- 試験方法・時間割等詳細は、7月8日(水)に掲示します。
- 教務課提出のレポート受付は次のとおりです。
受付日時／7月28日(火)・29日(水)
10:00～18:30(時間厳守)
(18:30を過ぎたものは一切受け付けません。注意してください。)
受付会場／J103教室

真宗大谷派教師前期修練について

文学部第3学年を主たる対象とする前期修練は次のとおり行われます。受講予定者は掲示板で受講班を確認してください。

第1班 8月5日(水)～8月11日(火)

第2班 8月19日(水)～8月25日(火)

第3班 8月30日(日)～9月5日(土)

第4班 9月6日(日)～9月12日(土)

前期追試験について

病気等の理由で前期定期試験を受験できなかった場合、教務課へ出願し許可されれば、次のとおり追試験を受験することができます。(許可理由等の詳細は『履修要項』で確認してください。)

①出願期間

当該科目試験日から1週間以内。ただし、7月29日(水)～7月31日(金)の試験については8月5日(水)が出願の締切りになります。

②追試験要項および時間割発表

8月20日(木)

③追試験日

8月24日(月)・25日(火)

集中講義期間について

今年度の集中講義期間は次のとおりです。各科目の日程については時間割表や掲示等で確認のうえ、受講してください。

集中講義期間

8月31日(月)～9月11日(金)

なお、教室については掲示でお知らせします。

後期の日程について

9月18日(金)より後期授業が始まります。また、この日に前期成績を反映した「履修単位通知書」を配付しますので、学生証を持参のうえ、講堂棟1階ホワイエにて受領してください。

9月28日(月)～9月30日(水)は登録修正期間です。前期成績評価の結果、登録の修正が必要な場合はこの期間中に手続きをしてください。登録修正をした学生は、10月8日(木)～10月12日(月)に「聴講登録確認票」を配付しますので、必ず教務課にて受領のうえ、確認をしてください。また、『学生向け情報提供システム』【聴講登録確認】への反映は、10月7日(水)の予定です。修正の可否、追加募集科目等の詳細は7月中旬に掲示および『学生向け情報提供システム』にてお知らせします。

なお、9月21日(月)、9月22日(火)、10月12日(月)は祝日ですが、通常どおり授業が実施されます。

卒業研究の提出について

◎卒業研究提出・題目変更締切日について

来年3月、短期大学部卒業見込みの学生は、右記の一覧表で卒業研究提出締切日等を確認のうえ、期日を厳守してください。

なお、題目を変更する場合は、所定の「題目変更届」を教務課窓口で受取り、指導教員の承認印を得たうえで、右記の題目変更締切日時までに教務課へ提出してください。

◎提出場所について

教務課窓口へ提出してください。

なお、論文提出締切日のみ至誠館2階会議室へ提出してください。

— 提出締切日時について —

種 別	題目変更締切日時	論文提出締切日時
卒業研究 (仏教科・文化学科)	10月26日(月)17:00	11月2日(月)16:00
卒業研究 (幼児教育保育科)	11月23日(月)17:00	11月30日(月)16:00

(注意事項)

■論文等の提出方法や様式については、『履修要項』・『卒業研究作成の手引』で確認してください。

■ワープロ使用や縦書・横書等の様式については、学科等により制限事項が異なりますので、事前に指導教員と相談してください。

なお、ワープロを使用する場合で、所定の書式以外で提出する場合は、所定の「ワープロ書式所定外作成届」を教務課窓口で

受取り、指導教員の承認印を得たうえで、題目変更締切日までに教務課へ提出してください。

■論文提出最終日の締切時間「16:00」とは、題目確認・ページ数の記入・目次の作成・見返し等をすべて整え製本した状態で提出する最終時間のことです。16:00の段階で、この要件を満たしていない卒業研究は受理できませんので注意してください。

2009年度 大谷大学教育後援会 文芸奨励賞 応募作品 大募集！

この文芸奨励賞は、在学生を対象に文芸作品を募集し、言葉による表現意欲を奨励することを目的に、大谷大学教育後援会によって創設された賞です。

今年度も次のとおり応募作品を募集しています。

[募 集 要 項]

◎テーマ 「未来のわたしへ」

未来のわたしへ伝えたいことを50字以内で自由に表現して、伝えてください。

文の形式は自由です。

○応募作品

- 作品は50字以内。
- オリジナル作品で未発表のもの、一人1作品に限ります(同人誌発表作品も不可)。
- 応募作品は返却しません。

○応募資格 大谷大学、大谷大学短期大学部及び大谷大学大学院の在学生。

○応募期間 2009年9月17日(木)～10月23日(金)
(但し、事務休止日を除く)

○応募方法

- 大学指定の論文用紙またはA4判用紙で提出してください(縦書き・横書き自由)。
- 応募作品には、学生番号、学部(課程)、学科(専攻)、学年、氏名を必ず記入してください。
- 学生支援課窓口に備え付けの応募BOXへ直接提出してください。

提出時間 9:00～13:00、14:00～17:00

(但し、事務休止日を除く)

○入賞者発表

発表 2009年11月17日(火) 学生支援課掲示板にて発表

最優秀賞：1名以内(文芸奨励金 50,000円)

優秀賞：2名以内(文芸奨励金 30,000円)

佳作：10名以内(文芸奨励金 10,000円)

※入賞作品は、「大谷大学広報09-冬号」「大谷大学ホームページ」に全文掲載。

○審査員 大谷大学教育後援会会長、大谷大学学生部長及び大谷大学教育職員から3名

○その他

- 審査についての問い合わせには一切応じません。
- 応募作品に伴う個人情報、賞の発表及び事務連絡以外には使用しません。
- 入賞作品の著作権は、本学に帰属します。

◆問い合わせ先 学生支援課

試験時の学生証の携帯について

7月22日(水)より7月31日(金)まで、前期定期試験が実施されます。

事前に『履修要項』の受験注意事項を熟読しておいてください。

なお、定期試験は学生証を携帯していないと受験できません。

万一、学生証を忘れた場合は、試験開始前に、学生支援課で仮学生証(発行当日のみ有効)の発行手続きをしてください。発行に際しては、手数料500円が必要です。

定期試験不正行為は厳禁!!

定期試験において、不正行為が発見された場合は、その試験期間の受験資格を失い、単位は与えられないなどの処罰を受けることがあります。試験には厳正な態度で臨んでください。

休暇中のアルバイトについて

夏期休暇を利用してアルバイトをする場合は、安全・安心で確実なものを選ぶことが大切です。賃金の高さにつられて、危険なアルバイトに手を出さないように注意してください。

アルバイトには、業務上の事故や、労働条件をめぐるトラブル

が発生することがあります。信頼できる安全なアルバイトを選択するように心がけてください。

学生支援課では、アルバイトについての様々な相談も行っています。困った事があった場合には、学生支援課に相談してください。

なお、アルバイト紹介方法につ

いては、インターネットを利用し、ホームページ上より「学生アルバイト情報ネットワーク」の求人情報を24時間365日閲覧することができます。詳しくは、本学ホームページの「学生生活」→「アルバイト紹介」で確認してください。

麻しんに注意しましょう！

2007年4月から7月にかけて、首都圏を中心に麻しんの流行がありました。昨年も発症の報告があり、本学でも学生が麻しんに罹患しました。

麻しんは感染力が強く、免疫がないと高い確率で罹患する感染症です。学内での感染拡大を防止するためにも、まず、母子手帳などで自身が麻しんにかかったことが

あるか、予防接種を受けたことがあるかを確認してください。そのうえで、過去に麻しんにかかったことのない方、予防接種を幼少期に1回だけ受けた方（予防接種を受けていても時間の経過とともに免疫力が低下していることがあります）は抗体検査を受けて、免疫の有無を確認してください。その結果、十分な免疫のないことが判

明した場合は、早急にワクチンの接種などの感染予防措置をとってください。

また、麻しんだけでなく、風しん、水痘（みずぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、百日咳などの感染症も同様に、罹患歴・予防接種歴を確認し、必要に応じて早めに感染予防措置をとられることをお勧めします。

海外渡航についての注意

海外へ渡航する場合には、事前に「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の了承を得たうえで、必ず学生支援課へ提出してください。「学生渡航届」提出者に対し、本学より緊急時に連絡することがあります。

近年、海外では、感染症、地震・台風等の自然災害、戦争・紛争等の不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。場合によっては、渡航の自粛も検討してください。※

渡航にあたっては、右記のホームページにて、渡航先の衛生状態・治安状況等を調査し、情報をこまめにチェックしたうえで、慎重に計画を立ててください。

また、利用する旅行会社・航空会社について信頼できる会社であるか、緊急連絡体制は万全であるか等を確認し、自分自身を守るため「海外旅行傷害保険」に必ず加入してください。

海外渡航に関する情報は、GLOBAL SQUAREでも提供していますので利用してください。

〈厚生労働省検疫所ホームページ〉
〈海外渡航者のための感染症情報〉
<http://www.forth.go.jp/>

〈外務省海外安全ホームページ〉
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

帰国後、体調に変化がある場合は、最寄りの保健所に相談後、大学へ連絡してください。

本学連絡先

075-411-8120（保健室）

※新型インフルエンザに関しては、別途、「新型インフルエンザに注意！」の項目を熟読してください。

新型インフルエンザに注意！

今年4月末から5月にかけて、近畿圏を中心に新型インフルエンザが流行しました。京都府においても感染者が発生し、本学も5月22日～5月27日の期間に全学一斉休校となりました。本学の措置について、今後もホームページ・学生向け情報提供システム等で常に確認してください。

海外渡航については、平常時の海外渡航と同様に扱います（「海外渡航についての注意」の項目参照）。ただし、外務省の渡航情報により必要が生じたときには、制限する場合があります。

〈2009年5月27日現在〉

引き続き、感染予防・拡大には十分注意してください。

- (1) 大学到着後や帰宅時には、必ず手洗い・うがいをする。
- (2) 咽痛・咳・発熱・下痢・嘔吐感等感染の疑いのある症状が出たら、最寄りの発熱相談センターへ連絡し指示を仰ぐ。また、大学へも必ず連絡すること。
- (3) 不要不急の外出は、できるだけ控える。
- (4) 登下校時を含め、外出する際はマスクを着用するよう心がける。

〈厚生労働省ホームページ〉

〈各都道府県相談窓口〉

<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/090430-02.html>

本学問い合わせ先

075-411-8119（学生支援課）

夏期休暇中の長期貸出期間について

- 通常の貸出手続きによって借りている図書は、すべて返却した後、夏期長期貸出の手続きを取ってください。
- 手続きには利用者カード（学生証・職員証あるいは利用証）を必ず携帯してください。

■貸出冊数（通常貸出冊数と同じ）

科目等履修生・聴講生	5冊
文学部・短期大学部生	10冊
大学院生	
非常勤講師・研修員	
元教育職員・事務職員	20冊
教育職員・事務職員	

■長期貸出の手続期間

7月21日(火)から

■長期貸出の返却期限

9月30日(水)まで

夏期休暇中の図書館開館日時について

夏期休暇中（8月7日(金)～9月17日(木)）は、短縮開館となります。ただし、土・日・祝日、大学事務休止日は休館します。9月18日

(金)より平常どおり開館します。大学事務休止日などの休館日については、掲示・ホームページにて確認をしてください。

* 詳細、変更（臨時休館）は掲示・ホームページにてお知らせします。

GLOBAL SQUARE

留学や語学学習、留学生との交流に興味のある方は、気軽に立ち寄ってください。みなさんの来室をお待ちしています。

各種イベントなどの詳細は、GLOBAL SQUAREのホームページや掲示板で確認してください。

URL：<http://web.otani.ac.jp/gs/>

■留学出発前オリエンテーション

2009年度後期の留学予定者を対象にオリエンテーションを開催します。外国での生活を始める準備と対策を十分に、実りのある留学を実現させましょう。

日 時：2009年8月上旬

※詳細はホームページにてお知らせします。

場 所：GLOBAL SQUARE

- 内 容：◎入国の際の注意点
- ◎留学先到着後の手続
 - ◎留学中の安全対策
 - ◎帰国後の手続

■夏期休暇中の開室について（予定）

夏期休暇中の開室時間につきましてはホームページにてご確認ください。

※大学事務休止日（8月10日(月)～8月18日(火)）

および9月14日(月)、15日(火)は閉室

開室カレンダーはこちらから

<http://web.otani.ac.jp/gs/modules/piCal/>

■図書・視聴覚資料

GLOBAL SQUAREでは留学情報誌や語学学習問題集や参考書を設置しています。

DVDの視聴も可能です。資料目録はこちらから

<http://web.otani.ac.jp/gs/modules/bwiki/>

2009年度 後期学生納付金の納入について

後期学生納付金の納入期限は9月30日(水)＜銀行受付日付有効・納入期日厳守＞です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に8月31日に大学より発送します。

9月7日頃になっても振込依頼書が届かない場合、紛失、破損した場合には再発行いたしますので、財務課まで申し出てください。

事情により期限内納入が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを9月30日(水)までに行ってください。学費延

納の手続きには、「学費延納許可願(所定用紙)」および学費負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

2010年度前期学生納付金の納入期限は4月20日(火)です。前期学生納付金の振込依頼書については、4月1日に大学より発送します。

2009年度 後期学生納付金一覧

文学部

(単位 円)

		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
第1～3学年	真宗・仏教・哲・社会・歴史・文・国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	人文学部	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000
	教育・心理学科(第1学年のみ)	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000			558,500
第4学年	本年度進級学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
	◇ 人文学部	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	626,000
	同窓会入会金・終身会費納入済学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	◇ 人文学部	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000

社会学科臨床心理学コース第2学年の学生は授業実習費20,000円が別途必要です。

短期大学部

(単位 円)

		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
第1学年	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000
第2学年 仏教科・文化学科	本年度進級学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
	同窓会入会金・終身会費納入済学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
第2学年 幼児教育保育科	本年度進級学生	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	561,000
	同窓会入会金・終身会費納入済学生	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000

大学院

(単位 円)

		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
修士第1・第2、博士第1・第2学年 (2006年度以降入学生)		240,000	100,000	1,000		15,000			356,000
博士第3学年	本年度進級学生 (2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000	5,000	30,000	391,000
	同窓会入会金・終身会費納入済学生 (2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000			356,000
	同窓会入会金・終身会費納入済学生 (2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000			316,000

同窓会入会金・終身会費については、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など過去に納入されていれば不要です。

キャリアセンター

キャリアセンターでは、自分の将来や就職について考えるための情報提供や、支援プログラムの実施、相談などを通して皆さんが納得できる進路を決定していけるようサポートしています。相談、質問があれば、学年を問わずキャリアセンターに来てください。

キャリアセンターでは、以下のガイダンス・講座などを予定しています。日時の確定と詳細は、キャリアセンターからのDMや掲示、「学生向け情報提供システム」などで必ず確認してください。

就職スタートアップセミナー

対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 時：2009年7月15日(水) 16：10～19：20
会 場：講堂

情報収集ガイダンス

対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 程：2009年10月7日(水) 17：50～19：20
会 場：講堂

筆記試験対策講座〈SPI・時事・論作文〉(有料・定員有・申込制)

対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 程：2009年9月7日(月)～9月11日(金)
12：50～16：00

業界・企業研究フォーラム

対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 程：2009年10月末～11月初旬予定

業界研究講座

対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 程：2009年9月23日(水) 10：40～16：00
会 場：講堂

ビジネスマナーガイダンス

対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 時：2009年11月3日(火) 10：40～16：00
会 場：講堂
* スーツ着用で参加してください。スーツを持っていない学生は私服でも結構です。

エントリーシート・履歴書対策講座

対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 程：2009年9月27日(日)・10月3日(土)・
10月4日(日)・10月10日(土)・10月11日(日)
10：40～16：00 うち1日受講のこと

公務員ガイダンス「採用試験対策編」

対 象：2010年4月以降の採用試験受験希望者
日 程：2009年10月中旬

教職支援センター

教職支援センターでは、後期に次の講習やガイダンスなどを予定しています。

申込期間や日程などの詳細は、掲示および「学生向け情報提供システム」などで確認してください。

● 教員受験特別講習（9月開講）

＜教職教養＞ 教員に求められる「教育観」の育成をめざし、教育法規や学習指導要領、生徒指導や特別活動などを学びます。

日 時 9月14日(月)～19日(土) 2・3・4限目

申込〆切 7月31日(金) 17:00まで

講 師 東京アカデミー

● 教員希望者ガイダンス（9月開催予定）

本学卒業の現役教員を講師に招き、教員採用試験に向けての取り組み方や、教育現場の現状と教員になるにあたっての心構えなどを聞くことができます。

昨年度出席した学生からは「身近な先輩の話聞くことができ、やる気ができました」や「悩んでいた時期でしたが、この講演を聞いてやる気ができました」など前向きな感想が寄せられました。教員をめざす学生はぜひ出席してください。

● 教員採用試験説明会（12月開催予定）

公立学校・私立学校の募集および採用状況、採用試験に向けての取り組み方などについて説明します。

教員養成講座 ①

教育の楽しさ・難しさ

実践的指導力とは

近年、学校現場や教師に対し、社会からはかつてのような尊敬の念だけでなく、大きな期待とともに厳しい視線も向けられています。教師には実践的な指導力と専門性が強く求められています。つまり、教師とは採用されたその時から教師であり、児童や生徒に教える立場に立たねばならないのです。“1年目だから”は通用しないのです。経験があろうがなかろうが、児童・生徒に教師としての判断で助言や指導が必要なのです。学習指導、生徒（生活）指導、進路指導、学級指導、道徳指導、等全てにわたって正しい判断が求められます。教師を目指す皆さんにとって、学校で活躍できるための能力を身につけておくことは、必要不可欠な課題です。教師を目指す上で、「なぜ教師になりたいか」「どのような教

師になりたいか」について、あなたは明確な答えができますか。自分に問い続けて、教師としての“ブレナイ”軸を作りましょう。

教師としての実践的指導力として以下のことを挙げておきます。

1. 人間関係構築力を高める

子どもたちと直接的な人間関係はもちろん、校内の先生、保護者、地域の方々など様々な方との人間関係が大切です。

2. 体験を重視し、教師としての使命感を大切にしよう

視野を広げるためには、教育理論に加え、学生時代の体験も重要です。積極的に体験活動に参加しよう。

3. 社会の変化を学んでおこう

社会の動きは急速に変化しています。それに伴って児童・生徒、保護者、地域社会の在り方・考え

教職センター 長谷川 浩三

方も変化しています。社会の動きに関心を持つよう。

4. 判断力・決断力・先見性・実行力を身につけよう

生涯にわたって、努力していく姿勢を大切に、国内・国外に広く目を向け、実践的学習を積んでおこう。

5. 生徒指導・進路指導・部活動指導について学んでおこう

教師の仕事は授業だけではなくありません。本当に多岐にわたります。特に、中学校・高校では、新任教師に体育会系の部活動顧問を任せられることが多々あります。

以上は今から心掛ければできることばかりですね。いつも心の片隅に持っておいてください。

「ハラスメント防止のためのガイドライン」と「人権問題相談窓口」について

大谷大学では、2007年4月1日に従来のガイドラインを改訂し、新たに「ハラスメント防止のためのガイドライン」を策定いたしました。これは本学の構成員であるすべての学生、およびすべての職員、関係者が相互に人権を尊重し、就労や教育及び研究の場としてふさわしい良好な環境を維持することを願ってのことです。

本学構成員のすべての方は、このガイドラインの目的を十分にご理解いただき、あらゆるハラスメントの防止にお努めいただくとともに、誰もが安心して学び、気持ちよく仕事につける好ましい環境の保持にご協力いただきますようお願い申し上げます。

本学では、構内に3カ所（人権センター・学生相談室・保健室）の人権問題相談窓口を設置しています。ハラスメントだけではなく、その他人権問題全般に関する相談に応じます。秘密は厳守します。一人で悩まないで気軽にご利用ください。

（人権センター）



2007年4月1日

ハラスメント防止のためのガイドライン

大谷大学人権委員会

1. 目的

このガイドラインは、大谷大学（大谷大学短期大学部及び大谷大学大学院を含む。以下「本学」という。）の構成員が相互に人権を尊重し、就労や、教育及び研究の場としてふさわしい良好な環境を維持するため、学内における多様なハラスメントの防止とその対応策について必要な事項を定めることを目的とする。

2. 基本方針

ハラスメントは、個人の尊厳を損ない人権を侵害する行為である。本学は、本学の建学の精神及び日本国憲法、教育基本法、男女雇用機会均等法、女性差別撤廃条約等、人権に関する法令の精神に則り、ハラスメントの防止に努めるとともに、ハラスメントが発生した場合に適正な対応と諸施策を講じる責務を負う。

すべての本学構成員は、このガイドラインの目的を理解し、ハラスメントの防止とその解決に努めなければならない。

3. 対象と適用範囲

このガイドラインの対象となる者は、本学の構成員のすべてである。本学の構成員とは、学生（科目等履修生・聴講生・外国人留学研究生・研修員・公開講座の受講生等、本学で教育を受けるすべての者を含む。）、及びすべての職員（契約職員・兼任職員・アルバイト職員等、本学で就労するあらゆる形態の者を含む。）をいう。

このガイドラインは、ハラスメントが本学構成員相互間において問題となる場合、それが発生した場所・時間帯を問わず適用される。

さらには、実質的に本学の就労や、教育及び研究上の環境に重大な支障を与えると認められるハラスメントについては、被害者または加害者が本学の職員、学生等であれば、キャンパスの内外を問わず、本ガイドラインが広く適用ないし準用される。

なお、職員については離職後、学生等については卒業・退学等で本学の学籍を失った後においても、在職中又は在学中に受けたハラスメントに関する相談・申し立てを行うことができる。また、加害者とされる者が既に離職又は学籍を喪失している場合でも、その者が在職中又は在学中に行ったことであれば相談・申し立てを行うことができる。

ただし、キャンパス内の出入り業者、他大学学生等本学の構成員でない者については、本ガイドラインの趣旨、目的、概念を説明し、その者が所属する機関に対して、予防、再発防止、行為者の処分等を行うよう求めるものとする。

4. ハラスメントとは

ハラスメントとは、性別、社会的身分、人種、国籍、信条、年齢、職業、身体的特徴等の属性あるいは広く人格にかかわる事項等に関する言動によって、相手に不利益や不快感を与え、あるいはその尊厳を損なうことをいう。

大学におけるハラスメントとしては、優越的地位や指導上の地位、職務上の地位、継続的關係を利用して、相手の意に反して行われ、就労や、教育及び研究上の環境を悪化させる行為が挙げられる。意識的であるか無意識的であるかは問わず、また肉体的暴力だけでなく精神的暴力も含まれる。

これらのハラスメントには、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント等がある。

なお、これらの定義は厳格に解されるべきものではなく、さまざまな状況により柔軟に適用される。

(1) セクシュアル・ハラスメント

セクシュアル・ハラスメントとは、就労や、教育及び研究上の人間関係において、相手の意に反する性的な言動によって、就労や、教育及び研究上の不利益や利益を与え、またそれらの環境を悪化させることをいう。

性的な言動とは、性的な関心や欲求に基づく言動をいい、性的な文書や図画の掲示、性別により固定的な役割を分担すべきであるとする意識に基づく言動も含む。



不利益や利益とは、性的な欲求への服従又は拒否を理由に、進学、進級、成績評価及び教育・研究上の指導等を受ける際の取り扱いにおける不利益や利益、また、昇任、配置換え等の任用上の取り扱いや、昇格、昇給、諸手当等の給与上の取り扱いに関する不利益や利益、また、誹謗中傷を受けること、その他事実上の不利益や利益をいう。

環境の悪化とは、セクシュアル・ハラスメントによって、就労や、教育及び研究に専念し難い程度に環境が不快なものになることをいう。

また、セクシュアル・ハラスメントであるかどうかの判断は、行為者の意図にかかわらず、その行為が相手の意に反したものであるかどうかによる。

また、セクシュアル・ハラスメントは、異性に対してのみならず、同性間においても起こり得る。

(2) アカデミック・ハラスメント

アカデミック・ハラスメントとは、教員等の権威的または優越的地位にある者が、意識的、無意識的に、その優位な立場や権限を利用または逸脱して、その指導等を受ける者の研究意欲及び研究環境を阻害する結果となる、教育上不適切な言動、指導または待遇を行うことを指す。

例えば、教員間であれば、より優位にある者による研究妨害や昇任差別、退職勧奨等、教員と学生の間であれば、指導教員からの退学・留年勧奨、指導拒否、指導上の差別行為、学位取得の妨害、就職上の指導差別、公平性を欠く成績評価等である。より具体的には、昇任審査、学位審査及び研究指導において、特定の者に対し、必要以上に厳しい条件を課すこと、指導を超えて人格を否定するような言動を繰り返すことなどである。

ただし、教育上の指導においては、指導のあり方は多様であり、また指導を受ける側の個々人の感じ方等の差異もあり、アカデミック・ハラスメントであるか否かの判断については十分注意しなければならない。

(3) パワー・ハラスメント

パワー・ハラスメントとは、就学上、就労上の優越的地位を利用して、自分よりも下位のものに対し、その影響力を濫用する言動のことである。また、指導の範疇を超える言動により、人格と尊厳を侵害し不安を与え、それにより、就労や、教育及び研究上の環境を悪化させることである。これらは、必ずしも、先輩から後輩、上司から部下への加害行為に限られるわけではない。

上述した3種のハラスメントは境界線が不分明であるが、明確な人権侵害であるということをしかりと受け止めなければならない。

5. ハラスメント防止についての本学の役割

(1) ハラスメント防止のために学習会等の啓発活動を行う。

(2) 人権教育・研究・啓発を推進するために、また教育、研究の場にふさわしい環境づくりを推進するために、人権センターを置く。

(3) 被害を受けた学生および職員等が、安心してハラスメントの被害の相談・申し立て等ができるよう、人権センター、学生相談室、及び保健室に、人権問題相談窓口を設置し、相談員を置く。相談窓口では、ハラスメントに関する相談をはじめ、その他人権問題全般に関する相談に応じる。いずれの場合においても秘密が厳守されるよう、十分に注意する。

(4) 本学は、ハラスメントをはじめ、その他の人権侵害等に関する問題が生じた場合には、相談者の意思を尊重した上で、人権問題調査委員会を設置し、処分を含む早急且つ適切な対応を行う。加害者が学外者である場合にあっては、必要かつ適切な措置をとるよう努力する。

その際、関係者（当事者の他、監督・指導の責任を負う者等、利害関係を有する者を含む）のプライバシーの尊重と秘密厳守には特に留意する。

6. ハラスメントに関する注意

(1) ハラスメントをおこさないために

① 本学構成員は、ハラスメントのない、就労や、教育及び研究上の好ましい環境を維持するために、日頃から注意することが必要である。

また、学外や職務時間外におけるハラスメントにも注意しなければならない。さらに、本学構成員間のみではなく、関係を有する学外者との関係におけるハラスメントにも注意を要する。

② 教育職員と学生の関係において、教育職員は成績評価、単位認定等にかかわる権限を有している。したがって、そのことがハラスメントの基盤や背景となりうることを、十分に認識していなくてはならない。

③ ハラスメントを起こさないためには、お互いの人格を尊重することが最も重要である。

就労や、教育及び研究における人間関係において、相手を性的な関心の対象として見る意識をなくすること、また優位な立場にあることからくる慢心や相手に対する軽視を捨てることが大切である。また、異性を劣った性として見る意識をなくすることも重要である。

④ ハラスメントであるかどうかは、言動を為した者よりもそれを受ける側の感じ方や判断がより尊重される。このことは、ことにセクシュアル・ハラスメントにおいて顕著にあらわれる。したがって、親しさを表すつもりと言動が相手を不快に

させる場合があること、したがって、これくらいなら許容されるであろうと勝手に憶測しないことが大切である。

また、何らかの誘いに対して拒否の意思表示がないからといって、それを同意や合意であると勘違いしてはならない。

(2) ハラスメントを受けたと感じたら

- ① ハラスメントを自分一人で解決することは、きわめて困難である場合が多い。そのため、一人で悩まず、人権問題相談窓口にご相談することが望ましい。
- ② ハラスメントを受けたと感じた場合は、相手に対して明確に拒否の意思表示をすることが望まれる。明確な意思表示ができない場合は、その日時、場所、状況等について記録(メモ)を取り、信頼できる人があれば話しておくことが大切である。また、自らがどのように対応したかも記録(メモ)しておく。相談・申し立てに当たっては、ハラスメントに関する証拠のようなものは必ずしも必要とはされないが、記録しておくことは、相談・申し立て後の調査を円滑に進め易くするためには有用である。
- ③ 相談・申し立てについては、人権センター、学生相談室、保健室等、いずれの相談窓口でも受け付ける。最も相談しやすいところに相談に行くようにする。また、一人で相談に行き難いときには、親しい友人等の付添人(学外者を含む。)の同伴も認められる。相談窓口での相談・申し立ては、被害を受けたとされる者の立場を尊重して行われる。
- ④ 相談・申し立てについては、被害者とされる者だけでなく、被害者とされる者の代理人、被害を目撃した第三者からも受け付ける。ハラスメントの場面を見聞きした場合や、被害者から相談を受けた場合は、できるだけ被害者の力になり、相談窓口に行くように勧めることが望まれる。
- ⑤ 相談・申し立てについては、面談だけでなく、手紙・電話・ファックス・電子メールでも受け付ける。これらのうちで、もっとも利用しやすい方法を用いればよい。相談窓口への連絡方法は、学生手帳、パンフレット等に記載されている。

7. その他の注意事項

- ① 相談や救済のための申し立てを行った者や事実調査に協力した者、その他手続きにかかわった者が報復をされたり、なんらかの不利益を被ったりすることがあってはならない。
ハラスメントの相談・申し立てをしたことに対して、申し立てられた側が報復することを厳しく禁じる。もし、報復行為がなされた場合には、大学として、ただちに必要な措置をとる。また、申し立てられた者以外の者が、申し立てをした者に、何らかの差別的・不利益的な取り扱いや、いやがらせなどをしたときも同様に対処する。
- ② 虚偽であることを知りながら、嘘の相談や申し立てをしてはならない。また、虚偽の証言や十分な根拠がないのに、無理に真実である旨の証言をしてはならない。ただし、実際に経験したことについて、証拠を示して証明することが出来ないからといって「根拠がない」と取り扱われるわけではない。

[参考] ハラスメントの事例

1. セクシュアル・ハラスメントになり得る言動の例

(1) 教室・研究室・職場の内外で起きやすいもの

A. 性的な内容の発言等

- a. 性的な関心、欲求に基づくもの
 - ・スリーサイズを聞く等、身体的特徴を話題にする
 - ・卑猥な冗談を交わす
 - ・体調が悪そうな女性に「今日は生理日か」、「もう更年期か」等と言う
 - ・「彼とはどんな関係か」等と、性的経験や性生活について質問する
 - ・「結婚しているのか」、「離婚したのか」等としつこく聞く
 - ・性的なうわさを流したり、性的なからかいの対象とする
 - ・授業内容と関係のない性的な話題を授業中に持ち出す
- b. 性別により差別しようとする意識に基づくもの
 - ・「男のくせに根性がない」、「女には仕事を任せられない」、「女性は職場の花でありさえすればよい」、「女は学問などしなくてもよい」等と発言する
 - ・成人に対して、「男の子」、「女の子」、「僕、坊や、お嬢さん」、「おじさん、おばさん」等と人格を認めないような呼び方をする

B. 性的な行動等

- a. 性的な関心、欲求に基づくもの
 - ・ヌードポスター等を研究室や職場に貼る
 - ・雑誌等の卑猥な写真・記事等をわざと見せたり、読んだりする
 - ・職場のパソコンのディスプレイに卑猥な画像を表示する
 - ・身体を執拗に眺め回す
 - ・食事やデートにしつこく誘う



- ・性的な内容の電話をかけたり、性的な内容の手紙、Eメールを送りつける
 - ・身体に不必要に接触する
 - ・不必要な個人指導を行う
 - ・浴室やトイレ、更衣室等をのぞき見する
 - b. 性別により差別しようとする意識等に基づくもの
 - ・女性であるというだけでお茶くみ、掃除、私用等を強要する
 - ・女性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価する
 - ・男性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価する
- (2) 主に教室・研究室・職場の外において起きやすいもの
- a. 性的な関心、欲求に基づくもの
 - ・性的な関係を強要する
 - ・ゼミやクラス、クラブ、サークル、職場等の旅行の宴会の際に浴衣に着替えることを強要する
 - ・出張への同行を強要したり、出張先で不必要に自室に呼ぶ
 - ・自宅までの送迎を強要する
 - ・住居等まで付け回す
 - b. 性別により差別しようとする意識等に基づくもの
 - ・カラオケでのデュエットを強要する
 - ・酒席で、指導教員、上司等のそばに座席を指定したり、お酌やチークダンス等を強要する

2. アカデミック・ハラスメントになり得る言動の例

(1) 教育指導を妨害するもの

- ・卒業研究を開始して間もないのに、早々に留年を言いわたす
- ・正当な理由を示さずに、単位を与えない
- ・卒業・修了の判定基準を恣意的に変更して留年させる
- ・正当な理由なく、本人の希望に反する学習・研究活動や研究テーマを押しつける
- ・就職活動を禁止する
- ・正当な理由なく、就職や他大学進学に必要な推薦書を書かない
- ・正当な理由なく、他の研究教育組織への異動を強要する
- ・「放任主義だ」と言って、研究指導やアドバイスをしない
- ・論文原稿を渡されてから、正当な理由なく、何週間経っても添削指導をしない
- ・嫌いなタイプ、意見の合わない学生に対して、指導を拒否したり差別待遇をしたりする
- ・教育・研究において、「幼稚なお前には指導の必要がある」等と言い、精神的虐待を行う

(2) 研究活動を妨害するもの

- ・正当な理由なく、文献・図書や機械類を使わせない
- ・正当な理由なく、実験機器や試薬等を勝手に廃棄する
- ・研究に必要な物品購入を、必要な書類に捺印しないという手段で妨害する
- ・正当な理由なく、机を与えない又は机を廊下に出したり、条件の悪い部屋や他の研究室員とは別の部屋に隔離したりする
- ・正当な理由なく、研究室への立ち入りを禁止する
- ・研究費の申請を妨害する
- ・正当な理由なく、学会へのお出張を許可しない
- ・正当な理由なく、研究出張を認めない等の手段で、共同研究を行わせない

3. パワー・ハラスメントになり得る言動の例

- ・職場・グループ内で孤立させる
- ・不当に本来の指導をこえる作業・業務をさせたり休日に出てくることを強要したりすることで、相手の健康を危険にさらす
- ・人格を否定したり傷つけたりするようなことばの暴力や実際に暴力をふるう
- ・相手の信用を傷つける
- ・立場を利用して知識・技術・アイデアを搾取する
- ・不当に職務に無関係な資料整理、コピー、お茶くみ、掃除等雑務をさせる
- ・携帯電話のメールを勝手に見る

2009年度 課外活動春季大会結果

【団体成績】

クラブ名	日程	対戦校	結果	会場
卓球部 (男子) 関西学生卓球春季リーグ戦 IV部 3位	5月9日 (土)	桃山学院大学	○ 3 - 2	東淀川体育館
	5月13日 (水)	奈良教育大学	○ 3 - 0	伏見港公園体育館
	5月14日 (木)	京都橘大学	● 2 - 3	◇
	5月16日 (土)	兵庫県立大学	● 1 - 3	近畿大学記念会館
卓球部 (女子) 関西学生卓球春季リーグ戦 III部 6位	5月9日 (土)	奈良女子大学	● 2 - 3	東淀川体育館
	5月10日 (日)	関西外国語大学	● 0 - 3	◇
	5月13日 (水)	大阪市立大学	● 2 - 3	伏見港公園体育館
	5月14日 (木)	大阪教育大学	● 0 - 3	◇
	5月16日 (土)	兵庫県立大学	● 0 - 3	近畿大学記念会館
	5月17日 (日)	滋賀大学	○ 3 - 2	◇
柔道部 (男子) 京都学生柔道大会 II部 3位	5月3日 (日)	びわこ成蹊スポーツ大学	● 0 - 3	京都産業大学
		明治国際医療大学	○ 5 - 0	◇
		京都府立医科大学	○ 4 - 1	◇
硬式野球部 京滋大学野球連盟春季リーグ戦 I部 4位	4月3日 (金)	京都学園大学	● 0 - 1	太陽ヶ丘球場
	4月4日 (土)	◇	○ 8 - 7	◇
	4月5日 (日)	◇	● 3 - 4	◇
	4月18日 (土)	花園大学	○ 8 - 0	◇
	4月19日 (日)	◇	○ 3 - 2	◇
	4月26日 (日)	京都創成大学	○ 7 - 1	福知山球場
	4月27日 (月)	◇	● 1 - 11	◇
	4月29日 (水)	◇	○ 4 - 3	佛光大学園部グラウンド
	5月8日 (金)	佛光大学	● 3 - 6	草津グリーンスタジアム
	5月9日 (土)	◇	● 0 - 4	◇
	5月13日 (水)	びわこ成蹊スポーツ大学	● 5 - 9	太陽ヶ丘球場
	5月14日 (木)	◇	○ 1 - 0	わかさスタジアム京都
	5月15日 (金)	◇	○ 4 - 3	◇
	サッカー部 京都学生サッカー選手権大会 ベスト8	2月28日 (土)	京都教育大学	○ 4 - 1
3月8日 (日)		京都精華大学	○ 10 - 0	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
3月14日 (土)		京都大学	○ 2 - 0	◇
3月15日 (日)		花園大学	○ 9 - 2	◇
3月21日 (土)		立命館大学	● 0 - 6	立命館大学原谷グラウンド
4月5日 (日)		京都橘大学	○ 15 - 0	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
4月12日 (日)		大阪経済大学	● 2 - 6	大阪経済大学江口グラウンド
バスケットボール部 (男子) 全関西学生バスケットボール選手権大会 1回戦敗退	4月19日 (日)	追手門学院大学	● 60 - 135	甲南大学
	5月9日 (土)	京都文教大学	● 70 - 88	京都精華大学
	5月16日 (土)	京都大学	● 77 - 86	◇
バスケットボール部 (女子) 全関西女子学生バスケットボール選手権大会 1回戦敗退	4月12日 (日)	太成学院大学	● 61 - 66	大谷大学
	5月9日 (土)	京都府立医科大学	○ 80 - 77	京都精華大学
	5月16日 (土)	京都教育大学	● 43 - 100	◇
ソフトテニス部 (男子) 関西学生ソフトテニス春季リーグ戦 V部Dランク1位 Cランク昇格	4月29日 (水)	奈良大学	○ 3 - 2	奈良大学
		兵庫教育大学	○ 4 - 1	◇
		流通科学大学	○ 4 - 1	◇
ソフトテニス部 (女子) 関西学生ソフトテニス春季リーグ戦 IV部Bブロック4位	5月3日 (日)	京都外国語大学	● 1 - 2	流通科学大学
		流通科学大学	● 0 - 3	◇
		大阪体育社会専門学校	● 0 - 3	◇
バドミントン部 (男子) 京都学生バドミントン春季リーグ戦 III部Aブロック3位	4月5日 (日)	滋賀短期大学	● 2 - 3	京都大学
	4月12日 (日)	京都橘大学	○ 5 - 0	◇
	4月19日 (日)	京都外国語大学	● 2 - 3	同志社大学
	5月3日 (日)	京都外国語大学	● 1 - 4	京都外国語大学
	5月10日 (日)	関西福祉科学大学	○ 3 - 2	大谷大学
	5月17日 (日)	四天王寺大学	○ 3 - 2	◇
関西学生バドミントン春季リーグ IV部Aブロック4位		大阪市立大学	● 2 - 3	大阪電気通信大学
		大阪電気通信大学	● 棄権	◇

【個人成績】

●硬式野球部

(京滋大学野球連盟春季リーグ戦)

於 太陽ヶ丘球場 他 (3月26日~5月18日)

ベストナイン

・捕手 藤川 圭市 (文学部仏教学科 第4学年)

・一塁手 吉岡 晋平 (文学部仏教学科 第4学年)

打撃10傑

・第2位 吉岡 晋平 (文学部仏教学科 第4学年)

課外活動 イベント情報



課外活動の 活動予定



団体名	イベント名	日程	開催時間
	会場	備考	
卓球部	平成21年度関西学生秋季卓球リーグ戦	9月5日(土)、9月7日(月)	
	京都府立体育館	http://homepage2.nifty.com/ksttf/index.html	
	平成21年度関西学生秋季卓球リーグ戦	9月9日(水)～9月12日(土)	
	尼崎市記念公園総合体育館	http://homepage2.nifty.com/ksttf/index.html	
サッカー部	第87回関西学生サッカーリーグ後期	9月13日(日)～11月15日(日)	未定
	湖西キャンパスグラウンドほか	http://www.eonet.ne.jp/~otani-univ/	
尺八・箏曲部	大谷大学尺八部箏曲部邦楽定期演奏会	11月29日(日)	18:00開場、18:30開演、 21:00終了
	京都市アバンティホール： 京都市南区東九条西山王町31アバンティ9階		
写真部	3回生展	9月22日(火)～9月27日(日)	未定
	ギャラリーアーティストロング： 京都市中京区三条通堀川西入ル橋西町670		
	2回生展	10月16日(金)～10月23日(金)	未定
	ギャラリーM： 京都市中京区蛸薬師通高倉西入ル松平ビル1階		
	冬舞展	12月10日(木)～12月16日(水)	未定
	新風館： 京都市中京区烏丸通姉小路下ル場之町586-2		
美術部	夏の学外展	8月18日(火)～8月23日(日)	10:00～18:00 (最終日のみ～17:00)
	ギャリエヤマシタ： 京都市中京区寺町通三条上ル天性寺前537		
落語研究会	朱五社社会福祉協議会余興	8月5日(水)	未定
	未定	http://fine.ap.teacup.com/warainogakkou/	
	専明寺お盆の集い	8月中旬予定	未定
	専明寺：滋賀県蒲生郡日野町大字鎌掛25-9		
	第1回ほうとく寄席(仮称)	9月20日(日)	未定
	鳳徳会館：京都市北区紫竹東高縄町1		
	知恩寺瑞林院 落語会余興	9月26日(日)	未定
	知恩寺瑞林院：京都市左京区田中門前町103-21		
	河原町笑学亭	11月予定	18:00開演(予定)
	銅駝会館：京都市中京区河原町通夷川東入 グランクール河原町二条前		
アメリカ民謡研究部	大阪岸和田岡山寄席	未定	未定
	第40回鴨川納涼	8月8日(土)、8月9日(日) ※出演日未定	未定
	鴨川三条大橋～四条大橋西岸河川敷		
	アメリカ民謡研究部七夕コンサート	7月4日(土)	12:30開場、13:00開演、 16:00終了(予定)
	講堂棟3階ラウンジ		

2009年度 同窓会支部総会ならびに巡回講演 「大谷大学・同窓会 全国縦断 夏季八十講」開催一覧

毎年、7月から9月に全国の同窓会支部において、支部総会ならびに巡回講演「大谷大学・同窓会 全国縦断 夏季八十講」が開催されます。夏季八十講は、全国に80支部ある同窓会支部と、大谷大学とが協働して実施する催しで、本学の教員や名誉教授が講師を務めます。講演会は、本学同窓生・在学生はもとより、一般市民にも広く公開され、地域社会の文化興隆に大きな役割を果たしています。

また、「静岡県支部」「福井支部」「神戸・阪神支部」「佐賀支部」は、同窓会を設立母体とするNPO法人「けんしや尋源舎」との共催で、「仏教公開セミナー」として行われます。

【北海道地区】

支部名	開催日程	講 師
函 館	8月21日(金)	藤島 建樹 同窓会長
小 樽	7月25日(土)	宮下 晴輝 教 授
札 幌	7月30日(木)	一楽 真 教 授
岩見沢		
夕 張		
砂 川	7月12日(日)	藤島 建樹 同窓会長
北の国	7月1日(水)	宮崎 健司 教 授
室 蘭	7月31日(金)	一楽 真 教 授
深 川	7月24日(金)	宮下 晴輝 教 授
旭 川	7月2日(木)	宮崎 健司 教 授
十 勝	7月26日(日)	加来 雄之 教 授
網 走	7月27日(月)	一色 順心 教 授
紋 別	7月28日(火)	一色 順心 教 授
釧 根	7月25日(土)	加来 雄之 教 授

【東北地区】

支部名	開催日程	講 師
青 森	9月1日(火)	佐賀枝夏文 教 授
岩 手	8月21日(金)	木村 宣彰 学 長
宮 城	8月28日(金)	沙加戸 弘 教 授
秋 田	8月31日(月)	佐賀枝夏文 教 授
山 形	8月30日(日)	佐賀枝夏文 教 授
福島県	8月27日(木)	沙加戸 弘 教 授

【関東地区】

支部名	開催日程	講 師
茨 城	8月22日(土)	草野 顕之 教 授
栃 木	8月20日(木)	木村 宣彰 学 長
群 馬	8月21日(金)	草野 顕之 教 授
埼 玉	9月5日(土)	大城 邦義 講 師
千 葉	9月6日(日)	大城 邦義 講 師
東 京	8月28日(金)	ロバート F. ローズ 教 授
神奈川	8月29日(土)	ロバート F. ローズ 教 授
山 梨	8月2日(日)	池上 哲司 教 授

【信越地区】

支部名	開催日程	講 師
信濃学友会	9月3日(木)	門脇 健 教 授
三 条	9月5日(土)	門脇 健 教 授
上 越	9月4日(金)	門脇 健 教 授

【東海地区】

支部名	開催日程	講 師
※静岡県	8月1日(土)	池上 哲司 教 授
三為会	8月31日(月)	小谷信千代 教 授
尾張学友会	9月7日(月)	乾 源俊 教 授
三 重	8月30日(日)	小谷信千代 教 授
大 垣	9月6日(日)	乾 源俊 教 授
岐 阜	9月8日(火)	乾 源俊 教 授
郡 上	8月29日(土)	小谷信千代 教 授
飛 騨	8月3日(月)	木村 宣彰 学 長

【北陸地区】

支部名	開催日程	講 師
富 山	8月26日(水)	一楽 真 教 授
高 岡	8月25日(火)	山田 恵文 講 師
金 沢	8月20日(木)	織田 顕祐 教 授
能 登	8月24日(月)	山田 恵文 講 師
小 松	8月19日(水)	織田 顕祐 教 授
大聖寺	8月18日(火)	織田 顕祐 教 授
※福 井	9月11日(金)	谷口奈青理 准教授

【近畿地区】

支部名	開催日程	講 師
長 浜	8月2日(日)	延塚 知道 教 授
湖 東	8月30日(日)	門脇 健 教 授
湖 南	8月30日(日)	大秦 一浩 講 師
湖 西	8月23日(日)	一楽 真 教 授
丹 但	8月4日(火)	一色 順心 教 授
大阪北	9月4日(金)	延塚 知道 教 授
大阪市		
大阪東		
大阪南		
※神 戸	8月29日(土)	大内 文雄 教 授
※阪 神		
和歌山	8月23日(日)	古川 哲史 准教授
奈 良	8月27日(木)	谷 眞理 教 授
播 磨	9月4日(金)	山野 俊郎 教 授

【中国・四国地区】

支部名	開催日程	講 師
島 根	8月30日(日)	藤嶽 明信 教 授
岡 山	9月1日(火)	藤元 雅文 講 師
福 山	9月5日(土)	山野 俊郎 教 授
広 島	9月3日(木)	木村 宣彰 学 長
山 口	8月27日(木)	木越 康 准教授
四 国	8月31日(月)	藤嶽 明信 教 授

【九州地区】

支部名	開催日程	講 師
福 岡	9月1日(火)	古田 和弘 名誉教授
久留米	9月2日(水)	草野 顕之 教 授
※佐 賀	8月29日(土)	木村 宣彰 学 長
大 分	8月26日(水)	木越 康 准教授
北九州	8月31日(月)	藤元 雅文 講 師
長 崎	8月26日(水)	木村 宣彰 学 長
熊 本	8月27日(木)	木村 宣彰 学 長
宮 崎	9月5日(土)	草野 顕之 教 授
鹿児島	9月4日(金)	草野 顕之 教 授

※「仏教公開セミナー」として、NPO法人「尋源舎」と共催

学問のしおり

モンゴルの歴史を研究する中で、私が常に留意しているのは、モンゴル人と仏教はいかなる関係を結んできたかということである。チンギスハン並びにオゴデイハーンと耶律楚材、フビライハーンとパクパ、アルタンハーンとダライラマ三世、そして現在のモンゴル国の前大統領が旧正月元旦にガンダン寺に公式参拝することに及ぶまで、モンゴル史の底流には常に仏教がある。

仏教とそれに付随する様々な文化的要素が、いつモンゴルに伝播し、いかにモンゴリック変容を遂げていったかを、私はモンゴル仏典の成立と変遷を追跡することによって明らかにしようと試みた。最初に注目したのは中国道教起源の『仏説北斗七星延命経』で、この「偽経」は元朝下の14世紀前半に漢文からウイグル語・モンゴル語・そしてチベット語に翻訳され、人口に膾炙した。伝存するモンゴル語版は17世紀以降になってチベット語版から重訳されたものだが、サンクトペテルブルク大学所蔵のモンゴル語大蔵経に含まれる写本のみはウイグル語からの借用語に満ちており、そこに失われた元朝期モンゴル語

版のなごりを見ると同時に、初期モンゴル仏教の産みの親はウイグル仏教であったことの証左を得た。このロシアでの調査は、真宗総合研究所・一般研究の採択を受けて実現できたものである。

また、科学研究費補助金によって「仏陀の本生譚『ヴェスバンタラ・ジャータカ』のチベット語とモンゴル語によるテキストの蒐集・解説」及び、内モンゴルのションコル氏との共同研究「北元期成立のモンゴル語訳『本生鬘ほんじょうまん（ジャータカマラ）』の解説」を行った。前者はソグド語訳→ウイグル語訳という延長上にモンゴル語版があるかどうかという点で大変興味深く、また後者は、翻訳原典がチベット語版であることは自明だったが、チベット語からの借用に満ち溢れる18世紀のモンゴル語大蔵経版と違って、ウイグルを介して伝播したインド・ヨーロッパ的要素がふんだんに見られ、モンゴル仏教の重層性を強く感じたものだった。

こうしたテキスト研究と並んで、私の関心を強く引き続けているのは、かつてのモンゴル帝国の首都カラコルムに16世紀末に建立されたエルデニゾー僧



モンゴル仏教の研究

松川 節

院である。この僧院が建立されたさい、カラコルムに建てられていた元朝期の碑文の大半は切り刻まれ、僧院の礎石として再利用された。僧院の外にある有名な巨大亀石は碑文の台座であり、そこに載っていたと思われる漢文・モンゴル文対訳の『勅賜興元閣ちやくしこうげんかく碑』の碑片も、エルデニゾー院内から出土した。碑文によると、興元閣という仏閣はオゴデイの時代に土台が造られ、憲宗モンケの1250年代後半には五層90メートルという壮麗な仏塔が建てられたという。この今は無き仏閣では、いったい何語で仏典が読経されていたのだろうか。近年この仏閣跡で大規模な発掘が行われた。残念ながら文字資料はコインしか出土しなかったが、さらなる調査が俟たれる。

折しも、私が代表になって申請した科学研究費によるプロジェクト「世界遺産エルデニゾー僧院に関する総合的研究——過去の復元から未来への保存へ——」がこの春採択された。プロジェクトの目的は、歴史遺産としてのエルデニゾー僧院の保存・保護に向けて、〈過去の復元〉、〈現在の利用〉、〈未来への保存〉という3つの観点から、歴史学・考古学・

宗教学・建築学・民族学・保存科学という6つもの分野の研究者が学際的共同研究を行い、研究の基盤を整備し、その文化的価値を評価することにある。

エルデニゾー僧院はモンゴル帝国時代の記憶を留めるとともに、現在も宗教活動を行うモンゴル仏教の拠点のひとつでもある。つまり、チンギスハンの時代から現在に至るまで全てのモンゴル史を目撃し続けた類い稀な証人である。このプロジェクトで私がやりたいことは、院内のストウパに嵌め込まれているはずの『勅賜興元閣碑』碑片の探索、磨耗碑文のレーザー光線による解説といった人文情報学的アプローチ、寺院に関わる白樺文書の探索と発掘など、山ほどある。また同時に、この貴重な仏教建築がモンゴルの文化遺産であるにとどまらず、世界的な文化遺産であることをもアピールできればと考えている。

(まつかわ たかし 教授 人文情報学・東洋史学)

谷大エリア散策

第36回 カジュアルレストラン 陽さん

烏丸通紫明下の東側の「カジュアルレストラン 陽」さんを訪ね、オーナーの林佐代子さんにお話を伺いました。



アンティークな小物が並ぶ店内

—お店はいつ頃からですか

開店は昭和47年です。10年目くらいに改装して、食事をメインにした店に衣替えし、ランチに力を入れるようになりました。現在は朝9時から、夜10時までほぼ1日ずっと営業しています。以前はランチは夕方までだったのですが、いらっしゃるお客様の強い要望で今は夜でもランチメニューをご用意しています。

—人気メニューは何ですか

ハンバーグとオムライスです。メニューは仕入れ・仕込みからすべて自前で行っています。手作りの安心感とともにリーズナブルな価格で提供したいと努力しています。デミグラスソースは他所とは違ってやや甘めで特徴があると言われます。うちの味をおいしいと言って来てくださるお客さんを大切にしたいですね。



壁にはバリ島のお面が

—ジャズのライブを行なっておられるそうですね

「Saturday Night Jazz Live」と題して、土曜の夜にプロのミュージシャンによるライブを行っています。7年前に亡くなった主人が大のジャズ好きで、

店のBGMにも使っていたのですが、知り合いに演奏家の方を紹介していただいて4年前からライブを始めました。どうなることかと思いましたが、徐々に口コミやネットなどでジャズファンの中に広まり、軌道に乗ってきました。最近のリピーターのお客さんが増えています。40席ほどですが予約をしていただいた方がありがたいです。

—出演を希望される方は多いですか

土曜のライブはプロの演奏家に限っています。京都を中心に活動しておられる著名な方々ばかりで、知り合いのコーディネーターの方にメンバーの人はお任せしています。一方で実力がありながら演奏する場がないアマチュアの方も大勢おられますので、土曜日以外はそうした方々にも出演してもらうステージにしています。また、最近では貸会場として利用してもらう日もあり、クラシックやハワイアンなど、多彩な音楽活動の場になっています。趣味以外の音楽を聴くことができ私も楽しいですね。

—店内に飾ってある絵やお面も凝っておられますね

絵は版画家の山本容子さんの初期の作品です。わざわざ絵を見に来られる方もおられます。お面はバリ島のものです。お馴染みのお客さんからいただいたのがきっかけです。壁のクロスやランチョンマットなども、インテリアはバリのイメージに合わせたものになっています。テーブルは開店当時からずっと使っていて、こうした雰囲気が落ち着くとおっしゃっていただけるのが嬉しいです。店内のアクセントにもなっているピアノは、夜の演奏時にはライトが灯るととても素敵な雰囲気になります。お客さんからもかわいいと言われ人気者です。

—この近隣の街について

こうした商売をしていますと、“街は生きている”ということを実感しますね。昔は大谷大、同志社大、立命館高校、成安高校などの学生さんが大勢行き来する若者の街でした。学校の移転

に伴って学生さんが減り、街も落ち着いた雰囲気に変わってきました。以前は来られなかった家族連れやご近所の大人の方など、客層も変化してきました。こちらが年を重ねるにつれてお客さんの年代も上がってきますね。時々、昔この店でデートされていた方々がお子さんを連れて来てくださることもありまして、とても嬉しく思います。



オーナーの林さん

—今後どんなお店にしていきたいとお考えですか

時折、ジャズライブ中に興味を持って入って来られる方があり、皆さん「ジャズを聴いたのは初めてだがとても良かった」と言ってくださいます。目の前で素晴らしい演奏をお聴きになると、まったく初めての方でも感動されるようです。ジャズを聴いたことのない方に少しでも触れていただいて、裾野を広げていきたいですね。でも、音楽活動をメインに据えるのではなく、あくまでも昼間の喫茶と食事を主軸にしていこうと考えています。開店当初から来てくださっている方、長年通ってくださっている常連のお客さんを大切に、体力の続く限り頑張っていきたいです。



夜にはジャズライブが開かれることも

—ありがとうございました

総合研究室から

2009年7月から9月までの総合研究室の開室予定は以下のとおりです。

前期定期試験、夏期休暇等により開室日や開室時間が変則的になっていきますのでご注意ください。

開室予定に変更のある場合は、ホームページ・学内掲示板でお知らせしますのでご確認ください。

◆前期定期試験に関わる開室延長

7月15日(水)～30日(木)までの平日
9時開室、20時30分閉室

◆オープンキャンパスに関わる開室時間

7月20日(月祝) 9時開室、20時30分閉室
8月1日(土)・2日(日)
10時開室、17時30分閉室
8月3日(月) 9時開室、19時30分閉室
9月19日(土) 10時開室、17時30分閉室

黒字 - 9時開室、19時30分閉室

青字 - 9時開室、20時30分閉室

黒字 - 10時開室、17時30分閉室

黒字 - 閉室日

(8月8日(土)～18日(火)は大学事務休止日)

7月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	11
12	13	14	15	16	17	18	18
19	20	21	22	23	24	25	25
26	27	28	29	30	31		

8月	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	8
9	10	11	12	13	14	15	15
16	17	18	19	20	21	22	22
23	24	25	26	27	28	29	29
30	31						

9月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	12
13	14	15	16	17	18	19	19
20	21	22	23	24	25	26	26
27	28	29	30				

短期仏教科研究室から

○『仏教研究紀要』第31号が発刊されました。ご希望の方は、短期仏教科研究室までお越しください。

学会だより

大谷学会

◎研究発表会

日時 10月下旬 12時50分～
会場 響流館3階メディアホール
発表者 芦津かおり 准教授
阿部 利洋 准教授
徳岡 博巳 教授
采翠 晃 講師

開催日等は、掲示・ポスターにてご確認ください。

当日、授業のある方には欠席事由証明書を交付します。

真宗学会

◎真宗学会大会

日時 10月27日(火) 15時～
場所 尋源講堂
講師 一楽 真 教授
今井 雅晴 氏
(筑波大学名誉教授)

講題 未定

詳細が決まり次第お知らせします。

◎真宗学会例会

(第3回)

日時 10月7日(水)
14時30分～16時
場所 尋源講堂
発表者 齊藤 覚
(博士後期課程第1学年)

山高 秀介

(博士後期課程第2学年)

(第4回)

日時 10月21日(水)
14時30分～16時
場所 尋源講堂
発表者 難波 教行

(博士後期課程第1学年)

楠 寛大

(博士後期課程第2学年)

(第5回)

日時 11月4日(水)
14時30分～16時
場所 尋源講堂
発表者 相馬 晃
(博士後期課程第1学年)
安居 宏淳
(博士後期課程第1学年)

仏教会

◎研究発表例会

日 時 10月5日(月)
16時10分～17時40分

◎修士論文中間発表会

日 時 10月15日(木)
16時10分～21時

◎研究発表例会

日 時 11月26日(木)
16時10分～17時40分
詳細が決まり次第お知らせします。

西洋哲学・倫理学会

◎西洋哲学・倫理学会秋季公開講演会

日 時 11月19日(木) 16時10分～
場 所 尋源講堂
講 師 古東 哲明氏
(広島大学総合科学部教授)
講 題 未定

宗教学会

◎「大拙忌」記念公開講演会

日 時 7月9日(木)
16時10分～18時
場 所 響流館3階メディアホール
講 師 安藤 泰至氏
(鳥取大学医学部准教授)
講 題
「私たちは生と死を取り戻せるのか？
—医療化社会における死生学」

国文学会

◎国文学会大会

日 時 10月3日(土) 時間未定
場 所 尋源講堂
講 師 野村 卓美氏
(別府大学短期大学部教授)
講 題 未定

日本史の会(国史学会・日本仏教史学会)

◎日本史の会大会・総会

日 時 7月25日(土) 14時～
場 所 響流館3階メディアホール
研究報告

- ・山本 琢 氏
(山口県県史編さん室)
「山口県史編纂の歴史と展望」
- ・山下 ひろ子氏
(元南丹市立川辺小学校長)
「小学校の学びと育ち
—社会科・総合的な学習の時
間を通して—」
- ・齋藤 望 教授
「能面に見る“写し”
—切型を中心に—」
- ・木場 明志 教授
「近代日本仏教の対アジア越境」

◎9月例会(予定)

日 時 9月26日(土)

◎11月例会(予定)

日 時 11月21日(土)
詳細が決まり次第お知らせします。

文藝学会

◎文藝学会公開講演会

日 時 7月8日(水)
12時50分～16時
場 所 響流館3階メディアホール
講 師 山田 和人 氏
(同志社大学文学部教授)
講 題 「人形浄瑠璃演出研究
—絵が語る所作の世界—」
講 師 浦山あゆみ 准教授
講 題 「韻書を“読む”」

西洋文学研究会

◎西洋文学研究会年次総会

日 時 7月18日(土) 13時30分～
場 所 博綜館5階第2会議室
1、総会
2、研究発表
・発表者：源 真帆 氏
(京都工芸繊維大学非常勤講師)
タイトル：「ワーズワースと自然」
・発表者：黒川 美和 氏
(青山学院大学非常勤講師)
タイトル：
「ギュスターブ・フローベールと
ジョルジュ・サンドの腕比べ
—『ポールとヴィルジニー』を
前にして—」
・発表者：並木 治 教授
タイトル：
「『孤独な散歩者の夢』での
「植物学」が意味するもの」

大谷中学・高等学校からのお知らせ

◆来年度から大谷中学校の教育システムが大きく変わります。

我が中学校は、創設以来バタバシステムを採用した6ヵ年一貫教育（バタバコース制）を実施し、次年度でちょうど50年目を迎えることになりました。3年前から高校部のバタバコースをマスタークラスとコアクラスとに分け、よりきめ細かい進路指導と大学合格実績を高める努力をしてきました。効果と手応えがでてきたことをふまえて、来年度中学部も、以下のように変革することになりましたので、お知らせします。

従来の中学部
(35名×3クラス)



来年度中学1年生

- マスターJr（仮称）（35名×1クラス）
- コアJr（仮称）（35名×2クラス）

◆本年度の『今熊野セミナー』の日程と講演内容決定のお知らせです。

本校校長の真城義磨先生による『今熊野セミナー』も、すっかり地域に定着し、昨年度は毎回およそ40名位の方がセミナーに参加してくださいました。真城校長も大変喜んでおられ、今年度さらに内容を深めようと意気込んでおられます。今年度の『今熊野セミナー』の日程とそれぞれの講演の内容とが決定しましたので、お知らせします（第1回目、第2回目は既に実施済みです）。講演内容に興味をお持ちになった方は、本校までお越しください。（第1会議室で実施）

第1回	4月28日(火)	全て午後2時から	「子供の成長を妨げる方法」
第2回	6月8日(月)		「やさしく生きる」(映画『いのちの作法』)
第3回	10月15日(木)		「からだ・心・頭脳」
第4回	12月4日(金)		「本音から本願へ」
第5回	1月26日(火)		「逆境に生きる」

◆大谷中高等学校同窓会のお知らせ<9月26日(土) 17:30より開始>

今年度も上記の同窓会が、ハイアットリージェンシーホテル（東大路通り七条角）で行われます。男女共学になって一期生が卒業してから、毎年参加者が増加してきて幹事もやりがいがある、と張り切っています。本校卒業生の皆さん、どうぞ気楽に参加してください。教職員も沢山参加しています。

九州大谷短期大学からのお知らせ

◆個別面談型の入試制度「コミュニケーション入試」は6月1日からエントリー開始!

2010年度学生募集よりスタートする「コミュニケーション入試」は、受験生ひとりひとりの多様な能力を評価する個別相談型の入試制度です。「何に関心があるか」「どんな勉強をしたいか」など、本学の教員や入学センター職員と面談し、お互いの理解を深めます。まずはエントリーしてみてください。詳しくは大学入学センターへお問い合わせください。

エントリー期間：6月1日(月)～3月30日(火)

※登録票（エントリーシート）は、ホームページからもダウンロードできます。

◆社会人のための入学支援制度が充実。入学金(20万円)が免除になります。

社会人の方に積極的に学ぶ機会を提供するため、社会経験を持つ22歳以上の方を対象とした入学制度があります。また、経済的負担をできるだけ軽減し、安心して学べるよう社会人を対象とした給付金や奨学金も充実。社会人の方が本学へ入学される場合、入学金(20万円)も免除されます。

■詳しくは、九州大谷短期大学入学センターへお問い合わせください。

福岡県筑後市蔵敷495-1 TEL 0942-53-9900 E-mail nyugaku-c@kyushuotani.ac.jp

出版物紹介

◎『寺川俊昭選集Ⅰ～Ⅴ』

(全11巻刊行予定)

寺川俊昭 著

寺川俊昭選集刊行会

(大谷大学第19研究室内) 刊

※お問い合わせ

<terakawa.kankokai@gmail.com>



◎『ぼくは いま ここにいる』

佐賀枝夏文 著

成広のり子 絵

東本願寺出版部 刊

(2009.6.30) 31頁



◎『ヘルマン・ヘッセ

「樹木・遙かなる思考」』

加藤丈雄 訳注

朝日出版社 刊

(2009.1) 43頁

◎『シュトルム名作集Ⅰ』

テオドール・シュトルム 著

日本シュトルム協会 編訳

加藤丈雄 分担翻訳

三元社 刊

(2009.5) 436頁

◎『ヒトと動物の関係学

第2巻 家畜の文化』

秋篠宮文仁・林良博 編

高井康弘 分担執筆

岩波書店 刊

(2009.2) 280頁

◎『心理学の発見』

柴原直樹 編

田中久美子 分担執筆

あいり出版 刊

(2009.4) 208頁

◎『絶対役立つ教養の心理学

—人生を有意義に過ごすために—』

藤田哲也 編

田中久美子 分担執筆

ミネルヴァ書房 刊

(2009.4) 218頁

◎『哲学の眺望』

松山壽一 監修

加國尚志・平尾昌宏 編

竹花洋佑 分担執筆

晃洋書房 刊

(2009.5) 216頁

学生相談室から



新型コロナウイルスが流行した。本学でも6日間の休校措置がとられたことは記憶に新しい。国を挙げて対策を練り、これほどまでに恐れられたのは、ひとえにこのインフルエンザが「新型」であったことによる。わたしたちはこの毒に今まで出会ったことがないので、このインフルエンザに対する免疫がなかったのである。

免疫の多くはその病気にかったあとに、またはその毒から作られるワクチン注射によって得られる。免疫というものがこれほど頼りになるとは、日々の暮らしの中ではあまり意識されていない。病気というものにはなるべく罹りたくないというのが人情である。だが病のあとにわたしたちはひそかに、免疫を得ているのである。

ここにも免疫があるのかもしれないと思っただ。平素から傷つかないよう、悩みこ

免疫について

学生相談室の開室について

場 所	曜 日	学生相談員	開室時間
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	谷口奈青理 神田 敬子	10時30分～16時00分
	火曜日	久保 聡史	10時30分～16時00分
	水曜日	宇佐 晋一 (精神科校医)	13時00分～16時00分 (第2週・第4週)
		神田 敬子	10時30分～16時00分
	木曜日	讓 西賢 久保 聡史	10時30分～16時00分
	金曜日	久保 聡史	10時30分～16時00分

とがないよう、ここをくぐって生きていると、ちよつとしたことでも大きなダメージを受けてしまう。大学生という守られた時間と空間の中でいろいろな体験をしておくことは、ここらに免疫をつけることにもなるのではないか。それが命をとられるような「おごと」にならないよう、安全に免疫を得られるよう、学生相談室はお手伝いをしていきたいと思っっている。

(たにくち なおり)

谷口奈青理

【学生数】

(2009年5月1日現在)

学部	学 科	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
文学部	真 宗 学 科	81	10	91	63	11	74	78	10	88	87	13	100	309	44	353
	仏 教 学 科	62	14	76	53	12	65	54	13	67	76	23	99	245	62	307
	哲 学 学 科	40	32	72	53	20	73	52	28	80	79	34	113	224	114	338
	社 会 学 科	74	45	119	114	61	175	84	79	163	137	79	216	409	264	673
	史 学 学 科	2	0	2	4	0	4	47	32	79	51	50	101	104	82	186
	歴 史 学 科	69	47	116	70	45	115							139	92	231
	文 学 学 科	35	52	87	37	59	96	31	44	75	31	71	102	134	226	360
	国際文化学科	57	52	109	50	64	114	54	80	134	57	72	129	218	268	486
	人文情報学科	93	28	121	71	38	109	67	43	110	73	43	116	304	152	456
	教育・心理学科	41	69	110										41	69	110
	合 計	554	349	903	515	310	825	467	329	796	591	385	976	2127	1373	3500
文学研究科	修 士 課 程	33	10	43	37	17	54							70	27	97
	博 士 後 期 課 程	12	3	15	8	4	12	14	5	19				34	12	46
	合 計	45	13	58	45	21	66	14	5	19				104	39	143
短期大学部	仏 教 科	15	12	27	13	4	17							28	16	44
	文 化 学 科				8	40	48							8	40	48
	幼児教育保育科	10	71	81	13	80	93							23	151	174
	合 計	25	83	108	34	124	158							59	207	266
総 合 計		624	445	1069	594	455	1049	481	334	815	591	385	976	2290	1619	3909

2010年度 入学試験日程

【大谷大学文学部】

試験制度	学科・コース	募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
公募制推薦入試 (A方式=小論文型)	真宗学	10名	10月9日(金)～ 10月26日(月) (締切日消印有効)	11月7日(土)午後 11月8日(日)午後 (試験日自由選択制)	11月16日(月)	第1次 12月9日(水) 第2次 1月26日(火) (いずれも締切日消印有効)
	仏教	8名				
	哲学	8名				
	社会学	10名				
	歴史学	10名				
	文学	10名				
	国際文化学	10名				
	人文情報学	10名				
	教育・心理学	10名				
	真宗学	10名				
公募制推薦入試 (B方式=1教科型)	仏教	8名	11月8日(日)午前	第1次審査(書類選考) 第2次審査(面接) 12月13日(日)	12月7日(月)	第1次 1月26日(火) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
	哲学	8名				
	社会学	10名				
	歴史学	10名				
	文学	10名				
	国際文化学	10名				
	人文情報学	10名				
	教育・心理学	10名				
	真宗学	10名				
	仏教	10名				
自己推薦入試	真宗学	10名	11月16日(月)～ 11月27日(金) (締切日消印有効)	第1次審査(書類選考) 第2次審査(面接) 12月13日(日)	12月7日(月)	第1次 1月26日(火) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
	仏教	10名				
	哲学	10名				
	社会学	10名				
	歴史学	10名				
	文学	10名				
	国際文化学	10名				
	人文情報学	10名				
	教育・心理学	10名				
	真宗学	18名				
一般入試[第1期] (3教科型)	仏教	14名	1月7日(木)～ 1月19日(火) (締切日消印有効)	2月7日(日) 2月8日(月) (試験日自由選択制)	2月19日(金)	第1次 3月1日(月) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
	哲学	14名				
	社会学	25名				
	歴史学	30名				
	文学	18名				
	国際文化学	25名				
	人文情報学	25名				
	教育・心理学	25名				
	真宗学	10名				
	仏教	10名				
一般入試[第1期] (2教科型)	社会学	15名	2月9日(火) 2月10日(水) (試験日自由選択制)	2月9日(火) 2月10日(水) (試験日自由選択制)	2月19日(金)	第1次 3月1日(月) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
	歴史学	10名				
	文学	10名				
	国際文化学	15名				
	人文情報学	15名				
	教育・心理学	15名				
	真宗学	4名				
	仏教	3名				
	哲学	3名				
	社会学	5名				
一般入試[第2期]	歴史学	5名	2月15日(月)～ 2月25日(木) (締切日消印有効)	3月9日(火)	3月13日(土)	3月18日(木) (締切日消印有効)
	文学	4名				
	国際文化学	5名				
	人文情報学	5名				
	教育・心理学	5名				
	真宗学	4名				
	仏教	3名				
	哲学	3名				
	社会学	5名				
	歴史学	5名				
一般入試 [大学入試センター試験 利用入試]	文学	4名	1月7日(木)～ 1月15日(金) (締切日消印有効)	1月16日(土) 1月17日(日) 大学入試センター試験 (本学での個別学力試験等は課さない。)	2月19日(金)	第1次 3月1日(月) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
	国際文化学	5名				
	人文情報学	5名				
	教育・心理学	5名				
	真宗学	4名				
	仏教	3名				
	哲学	3名				
	社会学	5名				
	歴史学	5名				
	文学	4名				
第3学年 外国人留学生推薦入試	各コース	入試要項参照 [注3]	5月1日(金)～ 5月20日(水)	7月14日(火) 筆記・面接	7月17日(金)	第1次 11月11日(水) 第2次 1月26日(火)
	各コース	若干名 [注3]	9月16日(水)～ 10月2日(金) (締切日消印有効)	10月18日(日) 筆記・面接	10月26日(月)	第1次 11月11日(水) 第2次 1月26日(火) (いずれも締切日消印有効)
第3学年推薦編入 [前期日程] [注1]	各コース	入試要項参照 [注4]	9月16日(水)～ 10月7日(水) (締切日消印有効)	10月18日(日) 面接	10月26日(月)	第1次 11月11日(水) 第2次 1月26日(火) (いずれも締切日消印有効)
第3学年推薦編入 [後期日程] [注2]			11月16日(月)～ 11月27日(金) (締切日消印有効)	12月12日(土) 面接	12月21日(月)	第1次 1月26日(火) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
第3学年 一般編入学試験	各コース	若干名 [注3]	1月25日(月)～ 2月10日(水) (締切日消印有効)	2月26日(金) 筆記・面接	3月8日(月)	3月18日(木) (締切日消印有効)

- [注1] 大谷大学短期大学部文化学科、九州大谷短期大学を2009年度前期卒業、又は卒業見込者に限る。
 [注2] 大谷大学短期大学部仏教科・幼児教育保育科、九州大谷短期大学、その他の指定短大を2009年度前期卒業、又は卒業見込者に限る。
 [注3] 社会学科(社会福祉学コース・臨床心理学コース)・人文情報学科全コースは募集しない。
 [注4] 募集コース・人数は指定短大ごとに異なる。大谷大学短期大学部・九州大谷短期大学では社会学科(臨床心理学コース)、その他の指定短大では社会学科(社会福祉学コース・臨床心理学コース)・人文情報学科全コースの募集はしない。

【大谷大学短期大学部】

試験制度	学科	募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
公募制推薦入試 (A方式=小論文型)	仏教	5名	10月9日(金)～ 10月26日(月) (締切日消印有効)	11月7日(土)午後 11月8日(日)午後 (試験日自由選択制)	11月16日(月)	第1次 12月9日(水) 第2次 1月26日(火) (いずれも締切日消印有効)
	幼児教育保育科	10名		11月7日(土)午前		
公募制推薦入試 (B方式=1教科型)	仏教	5名	11月16日(月)～ 11月27日(金) (締切日消印有効)	第1次審査(書類選考) 第2次審査(面接) 12月13日(日)	12月7日(月)	第1次 1月26日(火) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
	幼児教育保育科	10名				
自己推薦入試	仏教	10名	1月7日(木)～ 1月19日(火) (締切日消印有効)	2月7日(日) 2月8日(月) (試験日自由選択制)	2月19日(金)	第1次 3月1日(月) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
	幼児教育保育科	16名				
一般入試[第1期]	仏教	10名	2月15日(月)～ 2月25日(木) (締切日消印有効)	3月9日(火)	3月13日(土)	3月18日(木) (締切日消印有効)
	幼児教育保育科	4名				
一般入試[第2期]	仏教	5名	1月7日(木)～ 1月15日(金) (締切日消印有効)	1月16日(土)・17日(日) 大学入試センター試験 (本学での個別学力試験等は課さない。)	2月19日(金)	第1次 3月1日(月) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
	幼児教育保育科	2名				
一般入試 [大学入試センター試験 利用入試]	仏教	2名	1月7日(木)～ 1月15日(金) (締切日消印有効)	1月16日(土)・17日(日) 大学入試センター試験 (本学での個別学力試験等は課さない。)	2月19日(金)	第1次 3月1日(月) 第2次 3月18日(木) (いずれも締切日消印有効)
	幼児教育保育科	4名				

【大谷大学大学院】

試験制度	課程	募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
秋季試験	修士課程	各専攻共定員の50%程度	9月16日(水)～ 10月2日(金) (締切日消印有効)	10月17日(土)筆記 10月18日(日)面接	10月26日(月)	第1次 11月11日(水) 第2次 1月26日(火) (いずれも締切日消印有効)
	博士後期課程	若干名	10月1日(木)～ 10月30日(金)	12月12日(土) 筆記・面接	12月21日(月)	1月26日(火)
外国人留学生入試	修士課程	若干名	9月16日(水)～ 10月2日(金) (締切日消印有効)	10月17日(土) 筆記・面接	10月26日(月)	第1次 11月11日(水) 第2次 1月26日(火) (いずれも締切日消印有効)
	博士後期課程	18名	1月25日(月)～ 2月10日(水) (締切日消印有効)	2月27日(土)筆記 2月28日(日)面接	3月8日(月)	3月18日(木) (締切日消印有効)
春季試験	修士課程	各専攻共定員の50%程度	9月16日(水)～ 10月2日(金) (締切日消印有効)	10月17日(土) 筆記・面接	10月26日(月)	第1次 11月11日(水) 第2次 1月26日(火) (いずれも締切日消印有効)
	博士後期課程	18名	1月25日(月)～ 2月10日(水) (締切日消印有効)	2月27日(土)筆記 2月28日(日)面接	3月8日(月)	3月18日(木) (締切日消印有効)

2009年度 後期 生涯学習講座案内

大谷大学では様々な教養を身につけたい方に、本学の研究成果をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、現代社会をいかに生きるのかをテーマとする講座、京都の文化の奥深さを知る講座など、切り口は多様ですが、共通するテーマは「人間」です。大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。

開放セミナー

○大乘仏教のあゆみ —親鸞の眼を通して—

<協賛：NPO法人尋源舎>

—概要—

2011年の宗祖親鸞聖人750回御遠忌を記念した開放セミナー「大乘仏教のあゆみ —親鸞の眼を通して—」を開講します。

親鸞の『正信偈』や『高僧和讃』にでてくる七高僧（龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然）はどんな人たちだったのでしょうか。親鸞はまた、仏教が日本に伝わるはじまりに聖徳太子を置き「和国の教主」として称えています。

本講座は、仏教がインドで生まれ中国を経て日本に伝わり、さらなる展開を遂げていく様子を、真宗学・仏教学・歴史学の各分野の視点から学ぶものです。

学長による総論（2007年度後期）によってスタートし、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然・聖徳太子（2010年度前期）の“人と思想”をテーマにして本学教員がリレー講義を行い、親鸞の眼を通して大乘仏教のあゆみを明らかにしていきます。

■開放セミナー「大乘仏教のあゆみ」は、NPO法人尋源舎の協賛を得て、開催いたします。

—開講計画—（※は終了しました）

	前期 5～7月	後期 10～12月	冬期 2月～3月
2007年度		①総論（3回）※	②龍樹（6回）※
2008年度	③天親（6回）※	④曇鸞（6回）※	⑤道綽（6回）※
2009年度	⑥善導（6回）※	⑦源信（6回）	⑧法然（6回）
2010年度	⑨聖徳太子（6回）		



○大乘仏教のあゆみ —親鸞の眼を通して—⑦ 「濁世末代の教え —源信—」

—概要—

源信僧都は、親鸞聖人が生きた中世という時代が始まろうとする平安時代の中ごろ、聖人が修行した天台宗の本寺、比叡山に住した人です。

源信が生きた時代は、それまでとくらべて、人々が自由に活動できる世の中になってきていました。しかし同時に、人間の自己中心的な心の闇とそれによって引き起こされる様々な苦しみや憂い、悲しみもまた、社会の前面に立ち現われるようになった時代でした。

源信はそうした時代社会を見つめながら、大乘の仏道が説かれたことの意味を問い続けました。そして、『往生要集』を著わし、自己中心の闇を破る光に照らされつつ、人々と共に歩む往生浄土の道を明らかにしたのです。

親鸞聖人は、そうした源信の教えを、和讃で次のように讃えています。

本師源信ねんごろに 一代仏教のそのなかに

念仏一門ひらきてぞ 濁世末代おしえける（『高僧和讃』）

この講座では、源信の生涯と時代の様相を確かめつつ、源信によって私たちに届けられた念仏の本当の意味を尋ねてみたいと思います。

—講座内容—

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 源信の時代と社会① | (4) 源信の思想② |
| (2) 源信の時代と社会② | (5) 親鸞と源信① |
| (3) 源信の思想① | (6) 親鸞と源信② |

講 師 東館 紹見 (大谷大学准教授)	時 間 18:00~19:30
Robert F. Rhodes (大谷大学教授)	定 員 100名
一楽 真 (大谷大学教授)	会 場 響流館3Fメディアホール
開講日 10月28日・11月4日・18日・25日・	受講料 6,000円 (税込)
12月2日・9日 (水曜日)	申込締切 10月21日(水) 当日消印有効

○「人のなす罪より低し雲の峰 –江戸真宗の生と死」

—概要—

幾千万とも知れぬ人々が、念仏に生き死した歴史があった。近代はそれを忘却に追いやった。いま近代の終焉。その人びとの復権が求められる。

罪業の我が身をあさましと悲嘆し、気がついたら救われていたと喜び、禁制下で頂いた信心は捨てようがないと死罪を受け入れた江戸の真宗者たち。その静かなる生と死が語るものを聞き届けたい。

—講座内容—

- (1) 地獄はよそにあるべからず—朝鮮侵略への従軍・臼杵の慶念
- (2) ただ不思議と信ずる—獄死した篤信者・加賀の任誓
- (3) 預かりし信心の死—真宗禁制下の妙好人・薩摩のお千代
- (4) 地獄の上の花見かな—煩惱の俳諧師・小林一茶
- (5) 我を迎えの火の車—悪しき者の慈悲・原稻城
- (6) 延命と祈る間も減るいのち—ええじゃないか・小杉屋元蔵

講 師 大桑 齊 (大谷大学名誉教授)	会 場 響流館3階メディアホール
開講日 10月16日・23日、11月20日、	受講料 6,000円 (税込)
12月4日・11日・18日 (金曜日)	申込締切 10月9日(金) 当日消印有効
時 間 18:00~19:30	定 員 100名

紫 明 講 座

○「ブータンから学ぶ幸福論」

—概要—

国民総幸福 (GNH) を国是に掲げ、世界一幸福な国と脚光を浴びるブータン。伝統と近代化、難民問題など、苦悩するブータンの現実と、死をふくむ豊かな宗教文化に光をあて、日本人にとっての「幸福のカタチ」を探る。

—講座内容—

- (1) GNPとGNH—日本とブータンの比較から—
- (2) 永遠なる命とつながりの社会—生と死の世界—
- (3) 信頼と希望—新国王の戴冠式に参加して—

講 師 本林 靖久 (大谷大学非常勤講師)	会 場 響流館3階メディアホール
開講日 10月17日・24日・31日 (土曜日)	受講料 3,000円 (税込)
時 間 14:00~15:30	申込締切 10月9日(金) 当日消印有効
定 員 100名	

詳細なパンフレットをご希望の方は、下記までお問合せください。
 また受講申し込みの際には、ハガキ、FAX、Eメールいずれかにて、
 ①講座名 ②氏名・フリガナ ③郵便番号・住所 ④電話番号を明記してください。

— 連 絡 先 —

教育研究支援課KO係
 TEL: 075-411-8161 FAX: 075-411-8162 E-mail: opensemi@sec.otani.ac.jp

※講座名、日程、受講料など変更になる場合があります。その旨ご了承くださいますようお願いいたします。

—— 大谷大学・大谷大学短期大学部 2008年度決算 ——

2008年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、5月25日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理されています。また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

■ 資金収支計算書 ■

資金収支計算書は、その年度の教育研究等の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。したがって、資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、人件費や教育研究にかかる経費、学生募集・広報など管理部門にかかる経費、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出などが含まれます。

資金収支の概況

資金収支計算書に基づいて、概要を説明いたします。

2008年度の収入（「収入の部合計」－「前年度繰越支払資金」）は54億5600万円、支出（「支出の部合計」－「次年度繰越支払資金」）は55億9300万円となりました。

収入の部では、学生生徒等納付金収入が前年度比1.8%減の41億4400万円となりました。手数料収入は、昨年度比25.9%増の1億3400万円となりました。これは、2009年度に新たに教育・心理学科を開設したこともあり、志願者数が大幅に増えたことによります。寄付金収入では、ほぼ例年通りの寄付をいただいております。1億8200万円となりました。補助金収入もほぼ前年度と同額の4億4100万円となり、資産運用収入では、預金利率の上昇もあり34.6%増の1億7100万円となりました。資産売却収入は、博物館資料を売却したため300万円の収入となっています。事業収入では、公開講座の受講料や受託研究収入2件などを含めて、6100万円となりました。

支出の部では、退職金が前年度より1億円ほど増額したため人件費全体を押し上げており、前年度に比べて3.5%増の28億1400万円となりました。学生の皆さんの教育研究および学生生活にかかわる教育研究経費は、11億300万円となりました。ここには『学生生活サポートブック』の刊行や就職支援のための

講習、また大学基準協会から認証評価を受けましたので、その認証評価手数料などが含まれます。総務、経理、学生募集やその他広報に関する管理経費は、前年度比26.8%増の5億2300万円となりました。これは特に2009年度に開設した教育・心理学科の学生募集のための広報費の増額によるものです。

施設関係支出では、本部西キャンパス北側の隣接地を購入しましたので、土地支出として1億6700万円を支出しています。その他施設関係では、1号館の教室の空調設備の改修や湖西キャンパス無線LAN工事などに1億8400万円を支出しています。設備関係支出では、教育研究用機器備品として博物館の展示ケースや、博物館の資料として鎌倉時代の『春日鹿曼茶羅』の購入費が含まれています。資産運用支出では、将来の校舎の整備や教育研究に使用する機器の更新のためなどに7億円を積み立てています。

2008年度資金収支計算書（2008年4月1日～2009年3月31日）（単位 円）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,144,346,000	人件費支出	2,813,923,834
手数料収入	134,010,940	教育研究経費支出	1,102,569,859
寄付金収入	181,901,000	管理経費支出	522,937,364
補助金収入	441,189,756	借入金等利息支出	27,997,200
国庫補助金収入	440,161,276	分担金支出	10,000,000
地方公共団体補助金収入	361,816	借入金等返済支出	111,100,000
その他の補助金収入	666,664	施設関係支出	184,345,215
資産運用収入	171,327,757	設備関係支出	105,801,983
資産売却収入	3,000,000	資産運用支出	700,414,883
事業収入	60,575,200	その他の支出	53,602,528
雑収入	258,169,410		
前受金収入	759,875,500		
その他の収入	305,677,625		
資金収入調整勘定	△ 1,004,026,603	資金支出調整勘定	△ 40,144,985
前年度繰越支払資金	7,396,820,123	次年度繰越支払資金	7,260,318,827
収入の部合計	12,852,866,708	支出の部合計	12,852,866,708

■ 消費収支計算書 ■

消費収支計算書は、授業料や寄付金など負債としない収入（帰属収入）と、施設・設備関係の減価償却額や資産の除却額などを含み、その年度に消費する支出（消費支出）との内容及び均衡の状態を明らかにするものです。すなわち、その年度の負債以外の収入と、人件費や諸経費などのいわゆるコストを比べ、バランスが取れているかどうかを見るためのものです。

教育研究を提供する学校法人は、学校を永続的に維持する責任がより一層求められています。そのためには、資金収支の整合性が取れているだけでなく、帰属収入から必要な資産を継続的に保持するために組入れる基本金への組入額を引いた額（消費収入）と、消費支出とのバランスを見ることによって、当該年度だけでなく、将来的な財政の健全性を見ることが重要になってきます。この点、資金収支計算書に比べて消費収支計算書は、長期的な観点をもってあるものといえます。

消費収支の概況

資金収支計算書と重複する項目を除いて説明します。

収入では、寄付金の中に、金額換算をした現物寄付1400万円が含まれています。その中には、教育後援会から寄贈いただいた就職支援用のパソコンや学生貸出し用のパソコン、体育館アリーナの照明設備などが含まれています。帰属収入の合計は、前年度比1.6%増の54億600万円となりました。

支出では、教育研究経費と管理経費の中に含まれる減価償却額が、教育では5億3300万円、管理では1900万円となっています。また、古くなった備品等を処分しましたので、資産処分差額として800万円ほどを支出しています。消費支出の部合計は、前年度比4.3%増の50億1800万円となりました。

当年度消費収入超過額は1400万円となり、翌年度繰越消費収入超過額は44億4900万円となりました。

2008年度消費収支計算書（2008年4月1日～2009年3月31日）（単位 円）

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,144,346,000	人件費	2,789,678,411
手数料	134,010,940	教育研究経費	1,640,968,314
寄付金	196,217,533	（うち減価償却額）	(533,173,031)
補助金	441,189,756	管理経費	541,766,983
国庫補助金	440,161,276	（うち減価償却額）	(18,646,299)
地方公共団体補助金	361,816	借入金等利息	27,997,200
その他の補助金	666,664	分担金	10,000,000
資産運用収入	171,327,757	資産処分差額	7,891,639
事業収入	60,575,200		
雑収入	258,183,861	消費支出の部合計	5,018,302,547
帰属収入合計	5,405,851,047	当年度消費収入超過額	14,179,768
基本金組入額合計	△ 373,368,732	前年度繰越消費収入超過額	4,435,099,162
消費収入の部合計	5,032,482,315	翌年度繰越消費収入超過額	4,449,278,930

■ 貸借対照表 ■

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、施設や設備など各種の膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を表し、教育研究に必要な財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。その意味で

この貸借対照表は重要であり、消費収支計算書とともに長期的な観点を持つものといえます。

ここでの資産は、保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給与引当金など、いずれ支出となっていくものを示します。基本金は、学校法人が必要な資産を永続的に維持するために、帰属収入のうちから組入れたものです。この基本金と消費収支差額の合計が正味財産となります。

貸借対照表の概況

ここに掲載した貸借対照表は、大谷大学・大谷大学短期大学部を設置する学校法人真宗大谷学園全体のものです。学校法人真宗大谷学園は、大谷大学・大谷大学短期大学部のほか、九州大谷短期大学、大谷高等学校、大谷中学校、大谷幼稚園を設置しています。

資産の総額は、487億6900万円で、前年度に比べて4億2400万円の増加となりました。内訳は、土地、建物、備品、図書および引当特定資産などの固定資産が389億1000万円、現金預金などの流動資産が98億5800万円となっています。

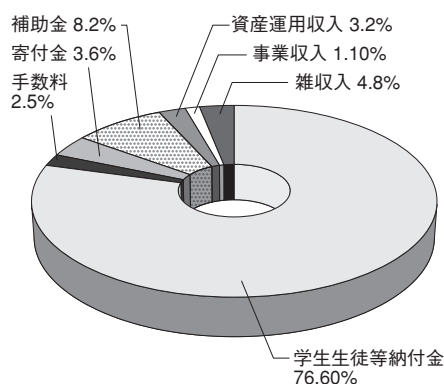
負債の合計は、48億700万円で、前年度に比べて1億300万円の減少となりました。内訳は、退職給与引当金などの固定負債が32億9100万円、未払金や前受金などの流動負債が15億1500万円となっています。

基本金は、398億800万円となり、前年度に比べて6億3800万円の増加となっています。

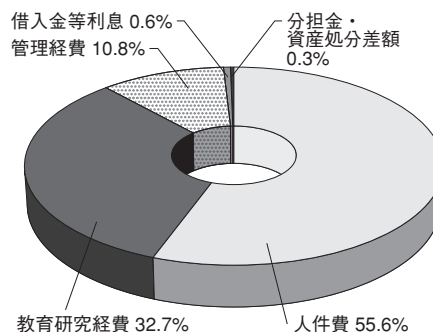
貸借対照表 真宗大谷学園総括表（2009年3月31日）（単位 円）

資産の部		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部	
科目	2008年度末	科目	2008年度末
土地	8,988,178,970	長期借入金	1,290,390,000
建物	11,625,631,918	退職給与引当金	2,000,993,330
構築物	458,074,182	固定負債計	3,291,383,330
教育研究用機器備品	558,074,754	短期借入金	134,980,000
その他の機器備品	24,128,571	未払金	221,718,039
図書	3,618,099,457	前受金	1,067,197,500
車輛	6,599,150	預り金	91,426,816
建設仮勘定	21,428,000	流動負債計	1,515,322,355
電話加入権	3,443,124	負債の部合計	4,806,705,685
施設利用権	1,113,886		
敷金	1,236,000	第1号基本金	35,262,312,565
預託金	162,050	第2号基本金	3,370,000,000
長期貸付金	112,313,170	第3号基本金	625,861,337
引当資産	13,491,980,277	第4号基本金	550,000,000
固定資産計	38,910,463,509	基本金の部合計	39,808,173,902
現金預金	9,459,616,646		
未収入金	376,297,871	翌年度繰越消費収入超過額	4,153,846,714
貯蔵品	6,284,664	消費収支差額の部合計	4,153,846,714
仮払金	2,123,649		
前払金	13,688,991		
立替金	250,971		
流動資産計	9,858,262,792		
合計	48,768,726,301	合計	48,768,726,301

■2008年度帰属収入の構成比率



■2008年度消費支出の構成比率



財 産 目 録

真宗大谷学園総括表

2009年3月31日

I	資産総額	金	48,768,726,301円
	内 1 基本財産	金	25,418,483,232円
	2 運用財産	金	23,350,243,069円
II	負債総額	金	4,806,705,685円
III	正味財産	金	43,962,020,616円

科 目	2008年度末
一 資産額	
(一) 基本財産	25,418,483,232円
1 土地	8,988,178,970円
大谷大学・大谷大学短期大学部校地	85,236.32㎡ 8,062,009,269円
九州大谷短期大学校地	38,928.29㎡ 444,635,005円
大谷高等学校・大谷中学校校地	33,039.73㎡ 457,889,796円
大谷幼稚園校地	2,995.40㎡ 23,644,900円
2 建物	11,625,631,918円
(1) 校舎	67,972.03㎡ 8,138,506,129円
(2) 図書館	9,539.61㎡ 1,241,024,262円
(3) 講堂・体育館	19,160.07㎡ 1,860,761,251円
(4) 寄宿舍	7,347.14㎡ 376,446,084円
(5) その他	75.27㎡ 8,894,192円
3 図書	3,618,099,457円
4 教具・校具・備品	582,203,325円
5 構築物	458,074,182円
6 車輛	6,599,150円
7 電話加入権	3,443,124円
8 施設利用権	1,113,886円
9 敷金	1,236,000円
10 預託金	162,050円
11 長期貸付金	112,313,170円
12 建設仮勘定	21,428,000円
(二) 運用財産	23,350,243,069円
1 預金、現金	9,459,616,646円
現金 現金手許有高	3,415,341円
普通預金	610,271,156円
定期預金	8,825,000,000円
当座預金	3,080,980円
通常貯金	8,037,309円
振替口座	9,811,860円
2 積立金	13,491,980,277円
3 貯蔵品	6,284,664円
4 未収金	376,297,871円
5 前払金	13,688,991円
6 仮払金	2,123,649円
7 立替金	250,971円
資 産 総 額	48,768,726,301円
二 負債額	
1 固定負債	3,291,383,330円
(1) 長期借入金	1,290,390,000円
日本私立学校振興・共済事業団	1,290,390,000円
(2) 退職給与引当金	2,000,993,330円
2 流動負債	1,515,322,355円
(1) 短期借入金	134,980,000円
(2) 前受金	1,067,197,500円
(3) 未払金	221,718,039円
(4) 預り金	91,426,816円
負 債 総 額	4,806,705,685円
三 正味財産 (資産総額-負債総額)	43,962,020,616円

《教育及び学生支援に関する事業》

①新学科開設に伴う初等科教員養成課程の開設

2009年度開設予定の教育・心理学科に、小学校教諭一種免許状取得課程と幼稚園教諭一種免許状取得課程を設置すべく、文部科学省へ申請を行い、認定通知をいただきました。

②GPAの導入

2008年度の文学部と短期大学部の入学生より、GPA制度を導入しました。GPAとは、アメリカの大学で広く採用されている成績評価システムです。Semesterごとに成績を算出することで、学習の成果と推移がより明確となり、学生自身で履修状況の確認をすることが容易となります。また教員も、学生の学期ごとの学習成果と推移がより明確に把握でき、従来よりも効果的な学習支援をすることができるようになりました。

③FD(ファカルティ・ディベロップメント)の実施状況

本学では2007年度に教務委員会FD部会を設置し、組織的に教育内容や授業方法を改善し向上させるための活動を推進しています。2008年度は、「大学教員とFD」をテーマに「第2回FD研修会」を実施し、講演記録の冊子を作成したほか、学外研修会に参加し、研修報告会を開催するなどの活動を行いました。

④国際交流の促進

韓国・イギリス・ドイツ・インドの4カ国への語学研修、文化研修に90名の学生を派遣しました。また修士課程に1名、博士後期課程9名、文学部に1名、留学研究生10名、合計21名の留学生を受け入れたほか、本学学生を韓国の東國大学校、東西大学校、中国の首都師範大学、上海交通大学、オーストラリアのボンド大学、クイーンズランド大学に送り出しました。

⑤実習支援センターの充実

2007年度より発足した実習支援センターでは、実習アドバイザー・社会学科社会福祉コース及び幼児教育保育科教員と教務部が連携し、福祉・保育・幼稚園関係実習を行う学生へのサポートを行っています。2008年度は、スタッフによる実習指導を強化し、実習に関する書籍、資料の充実を積極的にはかりました。また11月には実習懇談会を開催し、「実習における学びと育ち」をテーマに、全体会において本学実習生による実習報告を行いました。

⑥学生生活サポートブックの作成

新入学生が大学生活を始めるに当たり、必要な情報を提供し、安心して学生生活を送れるよう従来のガイドブックを見直し、新たに「学生生活サポートブック」として作成しました。

⑦学生の進路・就職支援

各種講習やガイダンスのほかに、「キャリアデザイン概論」を前期に開講しました。これは、「キャリアデザイン」という考え方を手がかりに、生きること、学ぶこと、働く

ことについて理解を深め、充実した学生生活を基礎とした進路選択を実現することを目的にしたもので、157名の受講がありました。また、就職アドバイザーを1名配置し、企業の採用動向の把握や新規の求人開拓を行い、その情報をもとに学生の適性に合った就職先を紹介できる体制を強化しています。

《学術及び研究に関する事業》

①学位授与

優れた研究業績をまとめ、博士の学位申請を行った者の中から厳密な審査を経て、2008年度は課程博士9名、論文博士2名、合計11名に対して博士(文学)を授与しました。

②真宗総合研究所の研究

学長を代表者とする指定研究として、(1)大谷大学親鸞聖人750回御遠忌記念特別指定研究「親鸞像の再構築」(2)国際仏教研究(3)西藏文献研究(4)大谷大学データベース研究(5)真宗本廟(東本願寺)造営史研究の5件、一般研究として採択された共同研究6件、個人研究1件、合計12件の研究プロジェクトを推進しました。

《組織及び施設に関する事業》

①認証評価への取組

大谷大学・大谷大学短期大学部について、(財)大学基準協会による「大学評価ならびに認証評価」・「短期大学認証評価」の申請を行いました。その結果、同協会の「大学基準」「短期大学基準」に適合していると認定されました<認定期間：2009(平成21)年4月1日～2016(平成28)年3月31日>。なお、「自己点検・評価報告書」「基礎データ」「評価結果」については、大学ホームページ上で公開しています。

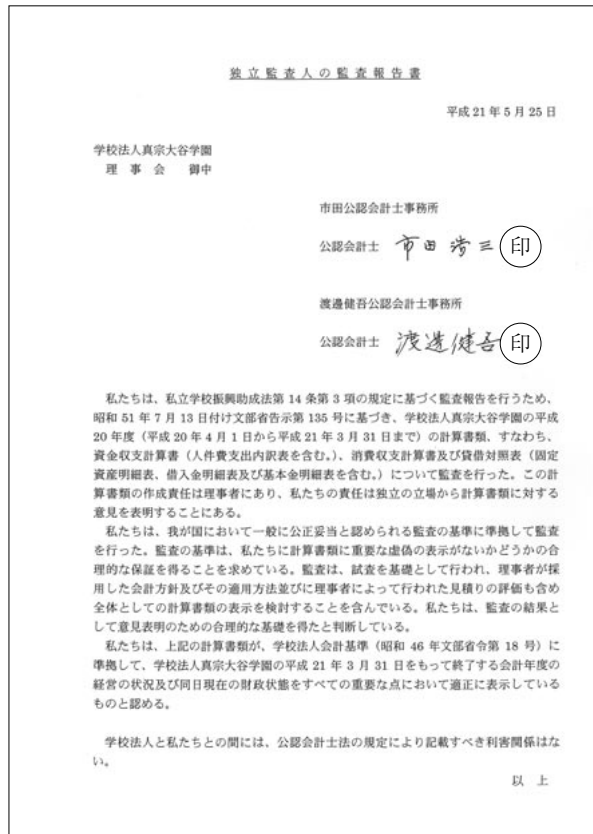
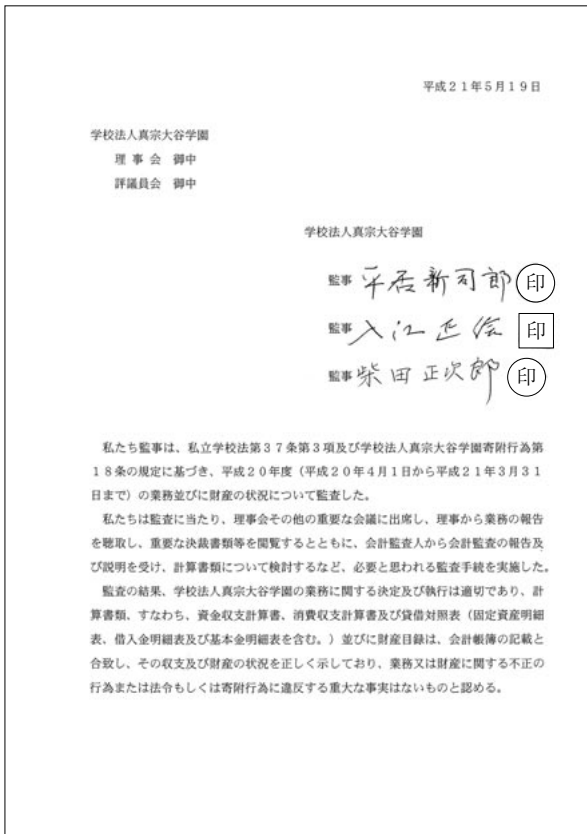
《社会への開放》

①公開講座の開講

本学教員が講師を務め、開放セミナー、紫明講座、京大学講座、博物館セミナーなどを年間通じて開講しました。2008年度は19テーマの講座を開講し、計880名の受講生がありました。また、地域交流事業として天津市仰木の里における子育てイベントに本学教員や学生が協力したほか、紫明講座の内容を京都府インターネット放送局に提供しました。

②博物館

毎年年1回の特別展と4回の企画展を実施しています。2008年度の特別展は「聖徳太子伝の世界—えがかれた和国の教主—」をテーマに展示しました。各展示期間中、ギャラリートークや講演会、学芸員・博物館スタッフによる展示解説ツアーなど、観覧の方々に展示の魅力を伝える取り組みをしました。また学生による展示ガイドや音声システムガイドを実施するなど、教育・学習と博物館展示の接続を拡充しました。



—— 大谷大学・大谷大学短期大学部 2009年度予算 ——

2009年度予算は、3月25日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

大谷大学では、仏教精神によって自己を問うことを学びの基本理念としており、「自己とは何か」を問い続け、人間として生きるための智慧を身につけることが何よりも大切なことと考えています。本学に入学した学生の皆さんが、さまざまな「学び」と「出会い」を通して真に人間として身につけなくてはならない智慧を得られるよう、教育研究の拡充とキャンパス内の環境と施設を整備し、充実した大学生活を過ごせるように予算を編成しました。

現在、学生の皆さんへの情報提供は「学内掲示板」を主としており、補助サービスとしてWebを利用した「学生向け情報提供システム」を運用しています。この情報提供システムを活用し、学生の皆さんの希望する情報がWeb上に掲載されると、メールにて知らせるサービスを後期から開始する予定です。また、このメール配信のサービスを利用し、全国各地において地震や水害などの天災による被害が起きた場合、瞬時に学生の皆さんへ安否確認メールを配信し、迅速に安否情報を把握することができるようシステムを構築します。

従来からも教職に就こうとする学生の皆さんへの支援業務は、教職支援センターにおいて行ってきましたが、教育・心理学科の新設を機会に、新たな体制のもとに教職支援センターを4号館内に開設し、より充実した教職課程の支援を実施します。

教職以外の就職希望者にも広く企業を選択できるよう、個々人の適正に応じた就職先を紹介できる体制を強化してまいります。

また、教育研究施設である博物館では、今秋、2007年度に交流協定を締結した韓国の東國大学校博物館の収蔵品を中心に、韓国の仏教美術を展示する特別展を予定しています。

その他、教室棟である1号館において、順次空調設備の更新を進めていますが、本年度も引き続き実施してまいります。

18歳人口の減少や昨今の経済情勢の悪化の中で、大学を取り巻く状況は厳しいものがあります。その中で、大谷大学樹立の精神を見失うことなく、現代という時代社会の問題との接点を探りつつ、仏教精神によって自己を問うことを学ぶ学生の皆さんが、大切な人間の課題を見つけていただけるようサポートするとともに、個性輝く大学として教育研究の一層の拡充を図るために予算を執行してまいります。

(学監・事務局長 長谷岡英信)

2009年度資金収支予算書
(2009年4月1日～2010年3月31日)

(単位 円)

学生生徒等納付金収入…授業料や、実習の際に納めてもらう実習料です。

事業収入…寮への入寮費や公開講座の受講料、受託研究による収入などです。

前受金収入…次年度入学者の入学料や授業料などです。

その他の収入…貸与奨学金の返還金などです。

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,052,125,000	人件費支出	2,869,916,000
手数料収入	96,805,000	教育研究経費支出	1,249,631,000
寄付金収入	181,000,000	管理経費支出	485,329,000
補助金収入	381,940,000	借入金等利息支出	25,665,000
資産運用収入	150,013,000	分担金支出	10,000,000
事業収入	67,300,000	借入金等返済支出	111,100,000
雑収入	157,900,000	施設関係支出	868,163,000
前受金収入	738,375,000	設備関係支出	277,624,000
その他の収入	1,266,185,000	資産運用支出	700,400,000
		その他の支出	45,357,000
		予備費	20,000,000
資金収入調整勘定	△ 884,137,000	資金支出調整勘定	△ 48,673,000
前年度繰越支払資金	7,260,318,827	次年度繰越支払資金	6,853,312,827
収入の部合計	13,467,824,827	支出の部合計	13,467,824,827

施設関係支出…土地や建物等の取得にかかる支出です。

設備関係支出…大学の資産となる備品などの取得にかかる支出です。教室の机、パソコン、図書などがこれにあたります。

資産運用支出…将来的な施設充実や機器の更新のための積立てに支出するものです。

その他の支出…前年度経費のうち年度を越えてから支払わなければならない支出や立替金などです。

2009年度消費収支予算書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

(単位 円)

手数料…入学検定料や証明書発行手数料などです。

寄付金…有志の方々や真宗大谷派および教育後援会から寄付していただいているものが主です。

補助金…国や京都市などからの補助金です。

資産運用収入…預金の利息や大学の施設利用料などです。

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,052,125,000	人件費	2,972,281,000
手数料	96,805,000	教育研究経費	1,809,873,000
寄付金	189,100,000	(うち減価償却額)	(560,242,000)
補助金	381,940,000	管理経費	507,090,000
資産運用収入	150,013,000	(うち減価償却額)	(21,761,000)
事業収入	67,300,000	借入金等利息	25,665,000
雑収入	163,350,000	分担金	10,000,000
		資産処分差額	750,000
		予備費	20,000,000
		消費支出の部合計	5,345,659,000
帰属収入合計	5,100,633,000	当年度消費支出超過額	1,601,913,000
基本金組入額合計	△ 1,356,887,000	前年度繰越消費収入超過額	4,449,278,930
消費収入の部合計	3,743,746,000	翌年度繰越消費収入超過額	2,847,365,930

人件費…専任の教職員、非常勤講師、嘱託職員、アルバイト職員などの給与等です。

教育研究経費…教育や研究活動にかかる消耗品や通信費などの経費のことです。

管理経費…人事、総務、経理、職員の福利厚生や学生募集にかかる経費のことです。

「大谷大学広報09-秋」発行のお知らせ

「大谷大学広報09-秋」の発行を11月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

- ①博綜館ピロティ（博綜館入口横） ②至誠館（学生支援課カウンター前） ③響流館（図書館、教育研究支援課カウンター）
- ④学内食堂 ⑤各研究室 ⑥1号館1階 ⑦2号館1階

また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。

http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html

サバンナでシマウマの群れが草を食んだりしているのどかな光景。この光景が一変、群れに緊張が走る。ライオンが数頭、群れに近づいていたのだ。一閃。シマウマたちは一目散に駆け出す。が、運悪くつかまった一頭が犠牲になる。

いったい何のことだと思われる方もあるだろう。「草食系男子」「肉食系女子」という聞きなれない言葉を初めて耳にしたとき、わたしの頭に思い浮かんだイメージである。

こうしたイメージを抱きギョッとしたり、学生諸君や同僚の先生に訊いてみると、何のことはない、協調性が高く、家庭的で優しいが、恋愛に積極的でないタイプの若い男性を「草食系男子」と呼び習わすこと、対照的に、恋愛に積極的な、待っているだけではない、パワーあふれる若い女性に対する「肉食系女子」の呼称が流行となっているらしい（のだが、学生諸君から

さらに「草食系」はもう古いとひとしきりレクチャーを受けた。もうついていけない……）。

そこでまず一番身近なところで確かめてみよう、その日帰宅してすぐに「最近『草食系』が『モテ系』だとか言われているようだけど、ほくは『草食系』だろうか？」と奥さんに聞いてみた。予想していたこととはいえ、当然のようにフツと鼻で笑われた。それ以上は、相手にされず。

仕方がないので、「草食系男子」「肉食系女子」という言葉に抱いた戸惑いを、独り、考察してみた。「恋愛に積極的でない」「積極的である」ということを言うためなら、わざわざ生々しく動物的な「草食」「肉食」の比喩を使わなくてもよさそうなものである。だが、ある種のひとたちの心にはこういう言葉が響いたからこそ（もう古いとはいえ）一定のひとたちの間に流行ったのだ

ろう。

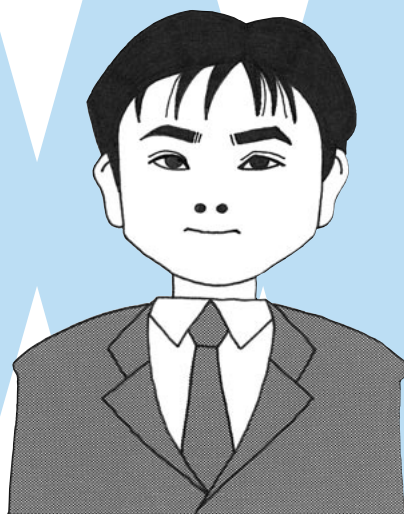
なぜ恋愛関係や人間関係を語るのに「草食」「肉食」の比喩が使われたのだろうか。そして、そういう言葉づかいが自分の置かれている環境にフィットする感じられるメンタリティをもつひとは、どのようなひとなのか。

やはりポイントは「食べる」という動詞だろう。そういえば、精神科医の土居健郎氏が彼の「甘え」論で次のように論じている。本来食べ物に対して使う「食う」「呑む」「なめる」などの動詞が、人間関係に転用される用法は興味深い。しかも、「人を食った態度」「相手を呑んでかかる」「相手をなめている」ひと自身が、表面的には威勢よさそうに見えるが、実は内心孤立無援であり、真の人間的交流をできずにいる者であることが要点だと土居氏は言うのである。

話題の広場 SQUARE

「草食系男子」？ 「肉食系女子」！

山内 清郎



絵 内山智廣

そうか、恋愛関係や人間関係を「草食」「肉食」「食べる」「食べられる」という比喩で好んで語るひとは、本当は寂しいひとたちだったのかと何となく納得。

自分なりの考察が済んで気が済んだ、と終わればよかったのだが、別の心配がむくむくと頭をもたげてきた。こういう言葉づかいをごく自然に使いこなしていた先の学生諸君に対する心配である。何も、下品な言葉づかいをしてはいけない、というお節介ではない。

こうした言葉づかいを自然に使いこなすとき、逆にその言葉づかいが、ひとをいつのまにか型にはめていってしまう力も持っていることへの危惧である。例えば、保護者や先生から「あなたは自分一人では何にもできないんだから」と、口を酸っぱく言われる子どもが、あたかもその言葉の予言的力に應えるかのように以前にも増して保護者や先生に対して依存的になっていくことはよくある。

若者たちに向けて「草食系男子」「肉食

系女子」という言葉を発信することにどういう意味があるのか。彼らを「食うか食われるか」の人間関係・恋愛関係に押し込めたいのだろうか。

実際のサバンナでも「食うか食われるか」の関係は一方的に固定されているわけではなく、シマウマの蹄で蹴られ、ライオンが再起不能の痛手を負うこともあるという。わたしたち人間関係、そして恋愛関係でも、いつも「食うか食われるか」の役割、リーダーシップ・依存の役割が一定しているわけではない。従順だと思っていたひとが思わぬ牙をむいたり、逆に、頼もしさを感じさせるひとが意外な弱さを見せたり、けんかをしたり、仲直りをしたりという豊かな機微をもっているはずである。「草食系男子」「肉食系女子」といったレッテルは、こうした機微に対して若者たちを鈍感にさせてしまう力も持っているのではないだろうか。

こうしたレッテルに対する反応には、言われるがままにカテゴライズされてしま

以外に、もうひとつ別の反応の仕方があるだろう。「世間は、わたしたちに何かレッテル貼りしたがっているみたいだけれど、そんなの関係ない」と笑い飛ばすことである。

そうか、今、気づいた。先の奥さんの、わたしへの反応は「あなた、流行りだとか、もてるとか、何を言っているの。バカバカしい」と相手にされなかったのではなく、「わたしたちはそんなつまらない『草食系』『肉食系』といったレッテル貼りとは関係なく、けんかもするけれど、仲直りもする、ときに甘えたり、ときに厳しくしたりする、そういう関係でしょ、分からないの」という全く健全で力強い、お互いの信頼を確認するメッセージだったのだ（と思う、たぶん……）。

（やまうち せいろう
講師 教育人間学・臨床教育学）